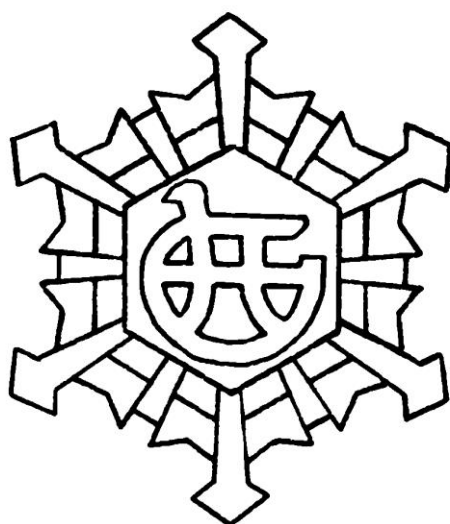


消 防 年 報

令和5年版



鳥取県西部広域行政管理組合

消 防 局

(令和6年刊行)

は　じ　め　に

この消防年報は、鳥取県西部広域行政圏の消防現勢並びに、令和5年における消防行政の執行状況を広く一般に紹介し、今後の消防行政の運営に資するため編集したものです。なお、予算については会計年度を用い、その他の表についてはそれぞれに記載する年月日で表したものです。また、本文中の各割合(%)については、端数処理のため合計が100%にならない場合があります。

令和6年7月

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

目 次

鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況	1
組合管内全図	2
管内常備消防の沿革	3
歴代の管理者・議長	16
歴代の消防長	17
鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図	18
消防機関の出動状況等	19
相互応援協定	20
事務分掌	21
消防職員	
(1)職員配置状況	24
(2)職員在職年数	26
(3)職員年齢構成	27
(4)職員研修	28
(5)職員採用試験	30
消防予算の状況	
(1)令和6年度当初予算額の対前年度比較	31
(2)令和6年度当初予算額の財源内訳	32
(3)令和5年度決算額	32
消防施設等の状況	
(1)消防庁舎及び無線中断所の位置・構造	33
(2)消防吏員待機宿舎概要	33
(3)消防車両等配置数	34
(4)消防車両概況	35
(5)救急・救助	
(5-1)救急隊配置場所	37
(5-2)高規格救急車積載一覧	38
(5-3)救助隊配置場所	39
(5-4)高度救助用資機材一覧	39
(5-5)救助工作車(Ⅲ型)積載一覧	40
(6)通信施設	41
予防	
(1)防火対象物の現況	43
(2)各種届出事務処理の状況	44
(3)防火対象物の用途別査察状況	44
(4)建築同意の用途別事務処理状況	45
(5)危険物製造所等の地区別施設件数	46
(6)危険物製造所等の事務処理件数	46
(7)危険物施設査察状況	47
(8)火薬類取締法関係	47
(9)液化石油ガス法関係	47

災害概況

I 火災概況

1 火災件数と死傷者数	48
2 出火状況	49
3 市町村別火災状況	50
4 出火原因	51

II 救急概況

1 救急出動件数、救急搬送状況	52
2 市町村別救急活動状況	53
3 傷病程度別搬送状況	54
4 年齢別搬送状況	54
5 署所別救急活動状況	55
6 月別救急活動状況	55
7 現場到着所要時間、収容所要時間	56
8 市町村別救急活動の推移	57

III 救助概況

1 事故種別救助出動状況	58
2 事故種別救助活動状況	58
3 事故種別救助人員状況	59
4 管轄別救助活動状況	59
5 市町村別救助活動状況	60
6 月別救助活動状況	60

IV 119番通報着信概況

1 119番通報着信件数の内訳	61
2 月別119番通報着信状況	61
3 電話種別による119番通報の着信状況	62
4 携帯電話からの119番通報の着信状況	63
5 時間帯別119番通報の着信状況	63

消防団・水利

消防団の人員と装備	64
水利状況	65

関係団体

〔米子地区防火安全協会〕	66
〔境港市消防保安協会〕	70

鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況

位置と地勢

当組合は、鳥取県の西部に位置し、中海を抱く米子市・境港市を中心として西伯郡・日野郡の2市2郡(9市町村)で構成されている。

米子市は、この地域における行政・交通・教育・文化など多面的な中枢機能をもつ山陰有数の商業都市であり、それと隣接する境港市は、日本海に面する重要港湾境港により海外貿易の門戸として、また沖合漁業の基地として知られ、弓浜半島の先端部に位置している。

米子市の南部、法勝寺川の流域平野部に南部町(西伯郡)があり、西域は島根県境と接しており、また名峰「大山」を臨む東部日本海沿岸部には日吉津村・大山町(西伯郡)があり、平坦部には肥沃な農地が拓け、沿岸漁業も盛んである。

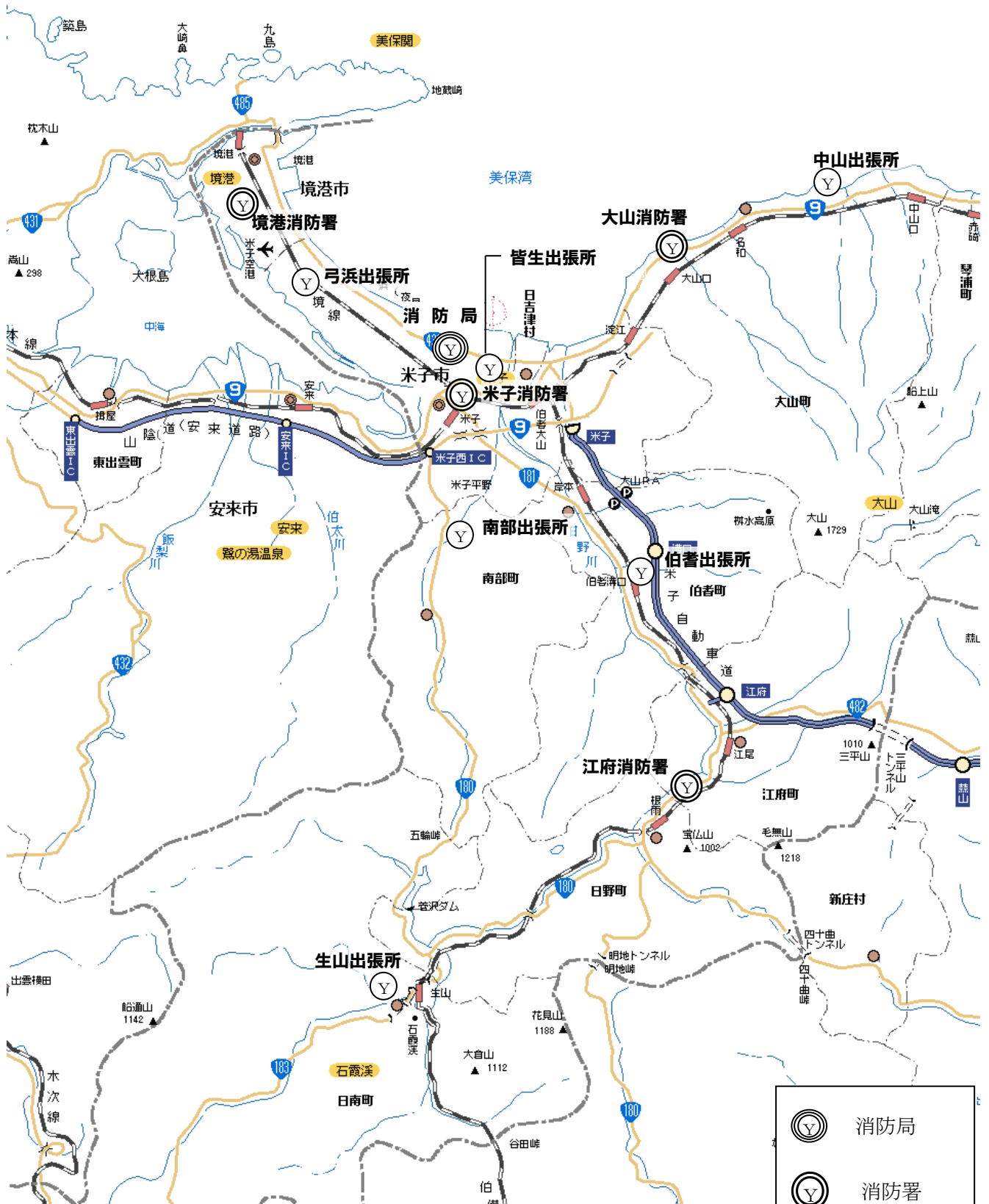
一級河川日野川の流域、遠く岡山・広島県境に至る中国山地に日南・日野・江府の各町(日野郡)が位置し、日野路への進入路には米子市と隣接して伯耆町(西伯郡)がある。

令和6年4月1日現在

構成市町村	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
米子市	144,068	63,064	132
境港市	31,583	13,245	29
日吉津村	3,547	1,299	4
大山町	14,358	5,121	190
南部町	9,925	3,548	114
伯耆町	10,178	3,676	139
日南町	3,755	1,658	341
日野町	2,608	1,131	134
江府町	2,407	925	125
合 計	222,429	93,667	1,208

(鳥取県市町村別推計人口による)

組合管内全図



	消防局
	消防署
	出張所

管内常備消防の沿革

1 米子市の消防

明治 26 年 3 月	米子町消防条例を制定し、定員21名、消防ポンプ2台(機種不明)をもって消防組を編成
昭和 2 年 4 月	市制実施
昭和 6 年 4 月	消防ポンプ自動車1台購入配置、森田式タービンポンプ4気筒A型フォード製
昭和 9 年	米子市公設消防組設置、消防ポンプ自動車1台、消防夫20名の常備制をとり、詰所を市役所内に配置
昭和 14 年 4 月	警防団令の施行によって、米子市警防団を結成し、消防組は警防団の消防部として配置
昭和 18 年 4 月	消防部の詰所を富士見町2丁目126番地に移転
昭和 22 年 4 月	消防団令が公布されて、警防団は解散し、新しく米子市消防団が結成されたが、消防部は市の常備消防部として配置
昭和 23 年 9 月	消防組織法の施行により米子市消防本部及び米子市消防署が設置され、消防職員24名、消防ポンプ自動車3台で業務開始、初代吉村泰之消防長就任(収入役兼務)
昭和 24 年 7 月	小型消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 24 年 9 月	小型消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 25 年 10 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 26 年 4 月	消防職員43名となる。(内2人は本庁兼務)
昭和 28 年 4 月	消防職員46名となる。(〃)
昭和 30 年 11 月	消防庁舎を増改築した。木造瓦葺2階建延面積464. 477㎡、消防職員定数54名
昭和 30 年 11 月	消防ポンプ自動車1台を購入配置
昭和 31 年 5 月	第2代船越照郷消防長就任
昭和 31 年 7 月	消防本部係制実施(庶務、予防第一、予防第二、消防、機械の5係)
昭和 32 年 11 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 33 年 4 月	指揮車(ジープ型)1台購入配置
昭和 34 年 4 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け配置(損保号)
昭和 37 年 11 月	消防ポンプ自動車1台を購入配置(2号車)
昭和 38 年 7 月	第3代戸田勇消防長就任
昭和 40 年 4 月	第4代吉村純一郎消防長就任
昭和 40 年 9 月	第5代松田宏消防長就任
昭和 40 年 9 月	広報車1台購入配置(日本消防協会配車)
昭和 41 年 9 月	消防ポンプ自動車1台購入配置(1号車)
昭和 42 年 6 月	消防本部に課制実施(警防課、総務課)
昭和 42 年 7 月	消防職員定員65名
昭和 42 年 12 月	救急自動車1台、化学車1台購入配置
昭和 42 年 12 月	富士見地区区画整理事業実施により富士見町1丁目103番地1に新庁舎を新築移転(鉄筋コンクリート造3階建延総面積13,207㎡)

昭和 43 年 2 月	救急業務開始
昭和 43 年 3 月	水そう付消防ポンプ自動車1台購入配置(速消車)
昭和 43 年 11 月	消防ポンプ自動車1台購入配置(6号車)
昭和 44 年 3 月	屈折梯子付消防ポンプ自動車購入配置(スノーケル車)
昭和 44 年 4 月	第6代植田実消防長就任
昭和 45 年 3 月	消防ポンプ自動車1台購入配置(5号車)
昭和 45 年 11 月	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受けた。(火災保険号)
昭和 47 年 4 月	消防職員の定数70名
昭和 47 年 5 月	指揮車を購入し更新配置した。(指揮1号)
昭和 48 年 4 月	消防職員の定数72名
昭和 48 年 12 月	救急自動車1台を購入配置(救急2号)
昭和 49 年 1 月	小型トラック1台を購入配置(作業車)
昭和 49 年 6 月	広報車1台購入配置(広報2号)
昭和 50 年 3 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 50 年 4 月	西伯郡7町村(西伯、岸本、会見、淀江、大山、名和町及び日吉津村)から救急業務を受託して業務開始、消防職員定数77名
昭和 50 年 7 月	東京海上火災保険株式会社から広報車1台の寄贈を受け配置(広報1号)
昭和 50 年 8 月	鳥取県共済農業協同組合から救急自動車1台の寄贈を受け配置(救急3号)
昭和 50 年 9 月	日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け配置(救急1号)
昭和 51 年 1 月	第7代名和義則消防長就任
昭和 51 年 4 月	皆生1661番地に皆生出張所を開設し、分遣隊による業務開始。鉄筋コンクリート造平屋建延面積391. 957㎡、消防職員定数79名

2 境港市の消防

昭和 31 年 5 月	境港市消防本部設置(市制施行に伴う) 西村清美団長 団員定数150名(6ヶ分団) 消防ポンプ自動車 6台
昭和 31 年 5 月	境港市消防団常備部開設 常備部長 西村清美団長 中嶋登美夫主任 常備部定員14名 消防ポンプ自動車A2級1台(S28. 2購入) 消防専用中短波無線電話 基地局1、移動局2 庁 舎 木造瓦葺2階建(延106. 38㎡) (第1分団(境)の消防車庫を改築し、待機室、仮眠室増設) 所在地、境港市上道町1, 703番地
昭和 31 年 10 月	常備部定員18名となり、4名増員
昭和 33 年 9 月	全市内に上水道消火栓が敷設される。初年度92ヶ所
昭和 34 年 7 月	境港市消防本部・消防署設置 林 義人消防長(署長兼務) 署員定数19名

昭和 36 年 5 月	消防庁舎新築(延353. 17㎡) 所在地 境港市上道町1, 600番地
昭和 36 年 11 月	消防署員10名増員 署員定数 29名
昭和 37 年 7 月	消防ポンプ自動車(A2級)1台配置(損害保険協会より寄贈を受ける)
昭和 39 年 4 月	救急業務開始。救急車(ジープ型)1台配置(日赤鳥取支部より貸与)
昭和 40 年 3 月	救急車(セドリック)更新(日赤貸与)
昭和 42 年 10 月	第2代梶野利雄消防長 (市総務課長兼務)
昭和 42 年 12 月	第3代景山善次郎消防長 (市収入役兼務) 化学消防ポンプ自動車(1型)1台配置 境港市消防保安協会より購入費一部(100万円)採納、購入額4, 345千円
昭和 43 年 3 月	消防専用超短波無線電話設置(中短波を更新)5基(固定局1、基地局4)
昭和 43 年 4 月	消防署組織改編。庶務、警防、予防3係設置
昭和 43 年 9 月	第4代中嶋登美夫消防長 (専任、署長兼務)
昭和 44 年 12 月	消防ポンプ自動車(A1級)1台配置。購入額2, 386千円
昭和 45 年 1 月	救急車(ニッサンB型)1台配置(消防庁より寄贈)
昭和 45 年 4 月	水そう付消防ポンプ自動車(1型、A1級)1台配置。購入額3, 180千円
昭和 46 年 5 月	広報連絡車(三菱ギャラン)1台配置(日本消防協会より寄贈)
昭和 46 年 12 月	消防専用超短波無線電話(移動局)2基増設
昭和 48 年 1 月	消防ポンプ自動車(A2級)1台増配置。購入額2, 705千円
昭和 48 年 3 月	消防専用超短波無線電話、周波数改正により更新(周波数152. 08MC) 基地局1基、移動局2基
昭和 49 年 3 月	消防専用超短波無線電話、移動局3基更新(周波数改正)
昭和 50 年 4 月	消防本部組織改編、課制施行。消防課、庶務係、警防係、予防係、1課3係
昭和 50 年 9 月	救急車(2B型)1台増配置。(日本消防協会より寄贈)
昭和 50 年 9 月	救急車(セドリック)1台廃棄。(日赤鳥取支部より貸与分)

3 鳥取県西部広域行政管理組合の消防

昭和 51 年 5 月	“鳥取県西部広域消防発足” 鳥取県西部地域における常備消防体制の確立をはかるため、鳥取県西部広域行政管理組合(米子市、境港市、西伯町、会見町、岸本町、日吉津村、淀江町、大山町、名和町、中山町、日南町、日野町、江府町及び溝口町の2市12町村で構成)においては、昭和51年4月13日政令指定を受け、組合において消防業務を処理することになり、昭和51年5月1日組合消防本部、米子消防署、境港消防署を開庁して業務を開始し、全面業務開始の昭和51年10月1日に向け、庁舎の建設、人員、器材の整備充足を図ることになった。 発足時の消防勢力は、消防職員数112人、消防ポンプ自動車8台、水そう付ポンプ自動車3台、化学消防自動車2台、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、救急自動車5台、指揮車1台、査察広報車3台、作業車1台 火災出場は、米子市、境港市の区域とし、救急出場は、米子市、境港市及び西伯郡の区域とする。 初代名和義則消防長就任
-------------	--

昭和 51 年 6 月 2 日	住友生命相互会社から救急自動車(無線機付)1台の寄贈を受け配置
昭和 51 年 7 月 1 日	消防職員31名採用
昭和 51 年 7 月 16 日	広報車1台購入(日本消防協会配車)
昭和 51 年 8 月 1 日	松江地区消防組合及び安来市能義郡消防組合との間に中海消防相互応援協定を締結
昭和 51 年 9 月 25 日	消防ポンプ自動車2台を購入(江府、大山出張所配置)
昭和 51 年 9 月 30 日	広報車1台を購入
昭和 51 年 10 月 1 日	米子消防署大山出張所及び江府出張所を開設し、管内全域において業務運用開始
昭和 51 年 10 月 2 日	救急指令装置完成
昭和 51 年 11 月 13 日	40m級梯子付消防自動車を購入し、米子消防署に配備
昭和 51 年 11 月 15 日	日本損害保険協会から救急自動車1台の寄贈を受け、大山出張所に配置
昭和 52 年 2 月 22 日	消防ポンプ自動車4台購入(西伯、溝口、生山、中山出張所配置)
昭和 52 年 3 月 14 日	消防ポンプ自動車1台購入(弓浜出張所配置)
昭和 52 年 3 月 29 日	古峠山無線中継局が完成
昭和 52 年 4 月 1 日	消防職員定数208名 消防職員67名を採用し、彦名小学校跡において彦名消防研修所を開設して初任研修を開始
昭和 52 年 4 月 26 日	広報車1台購入(中山出張所配置)
昭和 52 年 5 月 1 日	退職職員の補充として消防職員4人採用
昭和 52 年 5 月 17 日	指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 52 年 6 月 30 日	彦名消防研修所の研修を修了し、閉所
昭和 52 年 7 月 1 日	米子消防署西伯出張所、同溝口出張所、同生山出張所、同中山出張所の庁舎が完成し、それぞれ業務を開始 境港市小篠津町668番地の仮庁舎で、境港消防署弓浜出張所を開設し、業務を開始
昭和 52 年 9 月 17 日	日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 10 月 4 日	鳥取県共済生活協同組合から広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 11 月 1 日	境港消防署弓浜出張所庁舎の工事が完成し、米子市大篠津町2, 913番地1の新庁舎において業務を開始し、仮庁舎を閉所
昭和 52 年 12 月 9 日	消防ポンプ自動車(CD-I)7台を購入し、江府、大山、西伯、溝口、生山、中山、弓浜の各出張所に配置
昭和 53 年 2 月 6 日	株式会社菊屋から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 3 月 31 日	中部広域行政管理組合との間に西部、中部地区消防相互応援協定を締結
昭和 53 年 5 月 1 日	退職職員の補充として消防職員2名採用
昭和 53 年 5 月 30 日	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 6 月 1 日	退職職員の補充として、消防職員1名採用
昭和 53 年 6 月 9 日	指揮広報車2台を購入し、西伯出張所及び溝口出張所に配置
昭和 53 年 11 月 27 日	消防ポンプ自動車(CD-I)2台を購入し、米子消防署及び皆生出張所に配置

昭和 53 年 11 月 28 日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 54 年 2 月 20 日	救助工作車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 4 月 1 日	消防職員定数220名 消防職員12名採用
昭和 54 年 6 月 5 日	指令広報車1台を購入し、境港消防署弓浜出張所に配置
昭和 54 年 6 月 11 日	指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 10 月 1 日	本部総務課に教養係を設け、本部予防課指導係を廃して危険物係、建築係とし、境港消防署に機械係を新設
昭和 54 年 10 月 13 日	境港美保ライオンズクラブから救急車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 54 年 10 月 17 日	水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 10 月 27 日	消防ポンプ自動車(BD-I 型)1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 54 年 11 月 1 日	山陰酸素工業株式会社から広報車1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 54 年 12 月 1 日	指令広報車1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 55 年 3 月 26 日	合資会社キョートスポーツから救急車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 4 月 1 日	消防職員定数232名 消防職員14名採用
昭和 55 年 7 月 1 日	中山出張所及び生山出張所救急業務を開始
昭和 55 年 8 月 27 日	日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、中山出張所に配置
昭和 55 年 8 月 29 日	日本消防協会から指令広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 10 月 29 日	中山地区前進基地局開局(消防無線呼出名称西部消防中山)
昭和 55 年 11 月 7 日	消防ポンプ自動車(BD-1型)1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 55 年 11 月 25 日	水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 55 年 12 月 5 日	鳥取県消防設備保安協会より原動機付自転車2台及び和文タイプライター1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 12 月 26 日	化学消防自動車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 56 年 1 月 20 日	救急車(3B型)1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 56 年 4 月 1 日	消防職員の定数242名 消防職員14名採用
昭和 56 年 7 月 24 日	空気呼吸器充填用高圧コンプレッサーを皆生出張所に配備
昭和 56 年 9 月 30 日	日本消防協会から小型工作車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 56 年 11 月 30 日	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、皆生出張所に配置
昭和 57 年 4 月 1 日	消防職員定数246名 消防職員9名採用 消防本部の機構の一部改正(1本部、4署、6出張所) 大山消防署、江府消防署開設(米子消防署大山、江府出張所をそれぞれ消防署に昇格) 第2代仲田末男消防長就任
昭和 57 年 5 月 31 日	指揮車1台更新(米子消防署)

昭和 57 年 6 月 1 日	防火基準適合表示制度(「表示マーク」交付)実施
昭和 57 年 7 月 16 日	小型動力ポンプB2級2台を購入し米子、大山消防署に配置
昭和 57 年 11 月 16 日	消防ポンプ自動車(CD－Ⅱ型)1台更新(米子消防署)
昭和 58 年 3 月 31 日	中山地区救急波前進基地局新設
昭和 58 年 4 月 1 日	鳥取県消防学校開校 教官として2名の職員を派遣
昭和 58 年 8 月 31 日	日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け境港消防署に配置
昭和 59 年 2 月 24 日	小型動力ポンプB2級2台を購入し西伯、中山出張所に配置
昭和 59 年 3 月 9 日	日本損害保険協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け大山消防署 中山出張所に配置
昭和 59 年 7 月 1 日	第3代西田英二消防長就任
昭和 59 年 7 月 20 日	消防本部庁舎に冷房設備を設置
昭和 59 年 12 月 25 日	無線施設空中線塔の改修工事
昭和 60 年 3 月 10 日	境港消防署庁舎に冷暖房設備を設置
昭和 60 年 3 月 20 日	大山消防署中山出張所移転新築落成。中山町松河原弓ノ木880 (起工 昭和59年8月7日)
昭和 60 年 8 月 15 日	境港消防署第2消防車庫新築落成 (起工 昭和60年5月20日)
昭和 60 年 8 月 21 日	日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 61 年 5 月 22 日	指令車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 61 年 9 月 27 日	山陰酸素工業株式会社から連絡車1台の寄贈を受け、消防本部に配置
昭和 61 年 11 月 25 日	山之内製薬株式会社より救急車1台の寄贈を受け、大山消防署に配置
昭和 62 年 7 月 25 日	指揮車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 62 年 8 月 19 日	江府消防署及び生山出張所の冷暖房設備改修工事
昭和 62 年 9 月 3 日	日本消防協会より電源照明車1台の寄贈を受け、皆生出張所に配置
昭和 63 年 3 月 23 日	日本損害保険協会より救急車1台の寄贈を受け、江府消防署に配置
昭和 63 年 4 月 1 日	退職職員の補充として、消防職員3名採用 定数246名
昭和 63 年 6 月 29 日	大山消防署の冷暖房設備の改修工事
昭和 63 年 7 月 4 日	広報車1台更新(皆生出張所)
昭和 63 年 8 月 2 日	日本消防協会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け皆生出張所に配置
昭和 63 年 9 月 1 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(BD－Ⅰ型)1台の寄贈を受け米子 消防署に配置
昭和 63 年 11 月 15 日	消防ポンプ自動車[(CD－Ⅰ型)電動ホースカー付]1台を購入
平成 元年 2 月 25 日	消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)1台更新(境港消防署)
平成 元年 3 月 30 日	消防本部の受水槽設備の改修及び米子消防署の車庫排気ダクト 設備の工事
平成 元年 4 月 1 日	第4代岩佐弘志消防長就任 消防職員定数253名 消防職員11名採用
平成 元年 5 月 22 日	広報車2台更新(江府、大山消防署配置)
平成 元年 9 月 25 日	超短波無線電話装置の設置
平成 元年 10 月 1 日	溝口出張所に救急隊設置
平成 元年 10 月 25 日	溝口出張所庁舎の増築、改修工事

平成 元 年 10 月 27 日	15m級梯子付消防自動車1台を購入、皆生出張所に配置
平成 元 年 10 月 30 日	救助用資機材(ホルマトロ)一式を購入、米子消防署に配置
平成 元 年 11 月 2 日	作業車1台更新(米子消防署)
平成 元 年 12 月 25 日	溝口出張所に救急自動車(2B型4WD)1台配置
平成 2 年 4 月 1 日	消防職員定数258名 消防職員7名採用
平成 2 年 4 月 1 日	米子消防署皆生出張所に特別救助隊を設置し、業務を開始
平成 2 年 6 月 23 日	広報車3台を購入、皆生、中山、生山出張所に配置
平成 2 年 7 月 31 日	梯子車分解整備、西伯出張所ホース乾燥塔補強
平成 2 年 8 月 21 日	(有)日本消防協会から携帯無線機10台、拡声器2台を寄贈
平成 2 年 8 月 21 日	(有)日本消防協会から指令広報車1台寄贈、境港消防署に配置
平成 2 年 9 月 6 日	救急車(2B型4WD)を購入、生山出張所に配置
平成 2 年 9 月 18 日	日本防火協会から防火広報車1台寄贈、消防本部に配置
平成 2 年 11 月 21 日	生山出張所改装工事
平成 2 年 11 月 30 日	超短波無線電話装置消防波10W2台、救急波10W3台購入
平成 2 年 12 月 14 日	消防ポンプ自動車2台購入、大山、江府消防署に配置
平成 2 年 12 月 21 日	消防本部防水及び外壁改装工事
平成 3 年 1 月 21 日	危険物第4類試験装置一式購入
平成 3 年 2 月 6 日	安田生命保険相互会社から救急自動車(日産2B型)1台寄贈、境港 消防署に配置
平成 3 年 3 月 20 日	江府消防署敷地拡張造成工事
平成 3 年 3 月 25 日	米子消防署仮眠室空調機取替修繕
平成 3 年 3 月 27 日	油圧切断機1台購入
平成 3 年 4 月 1 日	消防職員定数262名 消防職員15名採用
平成 3 年 4 月 25 日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台寄贈、境港消防署に配置
平成 3 年 7 月 12 日	査察用軽自動車2台購入 米子消防署、溝口出張所に配置
平成 3 年 8 月 20 日	西伯出張所冷暖房改修工事
平成 3 年 9 月 5 日	(有)日本消防協会から救急車1台寄贈、米子消防署に配置
平成 3 年 10 月 1 日	大山消防署敷地拡張造成工事
平成 3 年 10 月 22 日	消防本部新庁舎建設用地取得
平成 3 年 11 月 27 日	超短波無線電話装置購入 消防波10W2台、救急波1台
平成 4 年 4 月 1 日	消防職員定数264名 消防職員4名採用
平成 4 年 1 月 10 日	消防ポンプ自動車2台購入、中山、生山出張所に配置
平成 4 年 1 月 11 日	消防本部庁舎新築工事着工
平成 4 年 3 月 2 日	空気呼吸器5基、軽量ポンベ9本購入
平成 4 年 5 月 4 日	救急救命士誕生
平成 4 年 7 月 11 日	消防本部主訓練塔新築工事着工 消防本部緊急通信指令施設設置工事着工 消防無線設備改修工事着工 (消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地)

平成 4 年 9 月 16 日	(財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防本部配置
平成 4 年 10 月 1 日	消防本部に指令課を新設
平成 4 年 12 月 21 日	高規格救急車1台購入、米子消防署配置 啓発広報車1台購入、消防本部配置
平成 5 年 1 月 22 日	米子消防署救急救命隊発足・業務開始
平成 5 年 2 月 28 日	消防本部庁舎新築工事完成
平成 5 年 3 月 20 日	消防本部主訓練塔新築工事完成
平成 5 年 3 月 26 日	消防本部緊急通信指令施設設置工事完成 消防無線設備改修工事完成 (消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地)
平成 5 年 4 月 1 日	消防本部移転、名称も消防本部から消防局に改名 消防職員15名採用
平成 5 年 5 月 24 日	査察用軽自動車2台購入 中山、生山出張所に配置
平成 5 年 6 月 3 日	広報車2台更新(西伯、溝口出張所)
平成 5 年 8 月 30 日	(財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防局に配置
平成 5 年 10 月 1 日	西伯出張所に救急隊設置
平成 5 年 11 月 15 日	西伯出張所の増築・改修工事完成
平成 5 年 1 月 26 日	消防ポンプ自動車2台購入、皆生、西伯出張所に配置
平成 6 年 2 月 26 日	山之内製薬株式会社より救急車1台寄贈、中山出張所に配置
平成 6 年 4 月 1 日	消防職員定員284名 消防職員11名採用
平成 6 年 5 月 10 日	査察用軽自動車2台購入(皆生出張所・西伯出張所に配置)
平成 6 年 5 月 25 日	広報車2台更新(消防局・弓浜出張所に配置)
平成 6 年 9 月 29 日	弓浜出張所庁舎の増築・改修・車庫の新築工事完成
平成 6 年 10 月 1 日	弓浜出張所に救急隊配備
平成 6 年 10 月 13 日	大山消防署救急車の更新
平成 7 年 1 月 17 日	阪神・淡路大震災、救助・救急隊災害派遣(1次～4次)
平成 7 年 2 月 10 日	溝口出張所1号車の更新
平成 7 年 3 月 27 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、境港消防署に配置 (弓浜出張所1号車更新)
平成 7 年 4 月 1 日	第5代石上洋二消防局長就任 消防職員3名採用
平成 7 年 4 月 3 日	境港消防署、救急救命隊発足・業務開始
平成 7 年 12 月 23 日	境港消防署、新庁舎完成
平成 8 年 1 月 22 日	消防ポンプ自動車3台購入(米子消防署・大山消防署・江府消防署 に配置)
平成 8 年 2 月 26 日	米子市から連絡車寄贈、消防局に配置
平成 8 年 3 月 26 日	消防ポンプ自動車1台購入、生山出張所に配置
平成 8 年 3 月 28 日	救助工作車(Ⅲ型)1台購入

平成 8 年 4 月 1 日	消防職員定員287名
平成 8 年 4 月 25 日	救助工作車(Ⅲ型)皆生出張所に配置
平成 8 年 5 月 1 日	西部広域消防発足20周年記念式典開催
平成 8 年 12 月 19 日	25m級梯子車1台購入、境港消防署に配置
平成 8 年 12 月 25 日	査察用軽自動車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 9 年 1 月 31 日	消防ポンプ自動車2台購入(西伯出張所・溝口出張所に配置)
平成 9 年 4 月 1 日	消防職員5名採用
平成 9 年 8 月 20 日	日本宝くじ協会から消火通報指導車寄贈、消防局に配置
平成 9 年 9 月 16 日	高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 9 年 10 月 1 日	大山消防署、救急救命隊業務開始
平成 9 年 11 月 7 日	タンク車及び消防ポンプ自動車各1台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 9 年 11 月 25 日	皆生出張所庁舎の増築・改修工事完成
平成 9 年 12 月 25 日	資機材搬送車1台購入、米子消防署に配置
平成 10 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 10 年 7 月 1 日	境港消防署に水難救助隊を設置し、業務を開始
平成 10 年 7 月 6 日	鳥取県消防防災航空隊の運用を開始した。 3名の職員を派遣
平成 10 年 11 月 30 日	江府消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 11 年 1 月 14 日	高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 11 年 1 月 25 日	消防ポンプ自動車2台購入(米子消防署・境港消防署に配置)
平成 11 年 1 月 25 日	タンク車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 2 月 1 日	江府消防署、救急救命隊業務開始
平成 11 年 3 月 10 日	現場指揮車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 3 月 31 日	境海上保安部と鳥取県西部消防局との消防業務協定締結
平成 11 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 11 年 5 月 7 日	鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会設立総会開催
平成 11 年 8 月 19 日	鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会合同訓練会
平成 11 年 12 月 31 日	Y2K越年警戒体制
平成 12 年 1 月 24 日	消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 12 年 1 月 24 日	タンク車1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 1 月 31 日	大山消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 12 年 2 月 21 日	救助工作車(Ⅱ型)1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 3 月 23 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、米子消防署に配置 米子救急救命車を更新
平成 12 年 3 月 27 日	大山消防署敷地拡張
平成 12 年 10 月 6 日	鳥取県西部地震発生(13時30分・マグニチュード7. 6)
平成 13 年 1 月 15 日	高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 13 年 1 月 16 日	40m級梯子車1台購入、米子消防署に配置
平成 13 年 2 月 1 日	生山出張所、救急救命隊業務開始
平成 13 年 2 月 28 日	化学消防自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 13 年 4 月 1 日	第6代清水 隆消防局長就任
平成 13 年 4 月 1 日	消防職員7名採用、防災支援要員4名配置
平成 13 年 4 月 1 日	鳥取県防災監危機管理課に職員1名派遣

平成 13 年 11 月 19 日	高規格救急車1台購入、中山出張所に配置
平成 13 年 12 月 1 日	中山出張所、救急救命隊業務開始
平成 14 年 1 月 31 日	(財)日本損害保険協会からタンク車寄贈、皆生出張所に配置
平成 14 年 1 月 31 日	中山出張所改築改修工事完成
平成 14 年 4 月 1 日	第7代廣谷耕史消防局長就任
平成 14 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 14 年 4 月 1 日	大山消防署特殊災害隊発足
平成 14 年 12 月 20 日	広報車1台購入、皆生出張所に配置
平成 15 年 1 月 21 日	救助工作車(Ⅱ型)1台購入、江府消防署に配置
平成 15 年 3 月 20 日	指揮車1台購入、境港消防署に配置
平成 15 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 15 年 4 月 1 日	鳥取県防災局消防課に職員1名派遣
平成 15 年 10 月 15 日	広報車2台購入(米子消防署・大山消防署に配置)
平成 15 年 11 月 17 日	高規格救急車1台購入、西伯出張所に配置
平成 15 年 12 月 1 日	西伯出張所、救急救命隊業務開始
平成 16 年 3 月 5 日	広報車2台購入(中山出張所・生山出張所に配置)
平成 16 年 3 月 17 日	指揮車2台購入(大山消防署・江府消防署に配置)
平成 16 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 16 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名を派遣
平成 16 年 10 月 1 日	西伯町と会見町が合併し、南部町が誕生
平成 16 年 10 月 1 日	米子消防署西伯出張所を米子消防署南部出張所に名称変更
平成 16 年 11 月 29 日	高規格救急車1台購入、溝口出張所に配置
平成 16 年 12 月 15 日	溝口出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 1 月 1 日	岸本町と溝口町が合併し、伯耆町が誕生
平成 17 年 1 月 1 日	江府消防署溝口出張所を米子消防署伯耆出張所に名称変更
平成 17 年 1 月 12 日	消防ポンプ自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 17 年 2 月 23 日	高規格救急車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 17 年 3 月 9 日	弓浜出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 3 月 28 日	大山町・名和町・中山町が合併し、大山町が誕生
平成 17 年 3 月 31 日	指令設備を更新し、高機能指令システムを導入
平成 17 年 3 月 31 日	米子市と淀江町が合併し、米子市が誕生
平成 17 年 4 月 1 日	第8代中田正男消防局長就任
平成 17 年 4 月 1 日	消防職員定員292名
平成 17 年 4 月 1 日	消防職員8名採用
平成 17 年 11 月 20 日	高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 17 年 12 月 1 日	皆生出張所、米子消防署救急2分隊高規格救急車を使用し 救急救命隊業務開始
平成 17 年 12 月 21 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、皆生出張所に配置
平成 18 年 2 月 28 日	タンク車1台購入、伯耆出張所に配置
平成 18 年 4 月 1 日	消防職員2名採用
平成 18 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 18 年 11 月 24 日	米子市危険物保安協会から広報車1台寄贈、消防局に配置

平成 19 年 2 月 23 日	タンク車1台購入、大山消防署に配置
平成 19 年 4 月 1 日	米子消防署 新庁舎完成
平成 19 年 4 月 1 日	消防職員2名採用
平成 19 年 11 月 28 日 ～ 29 日	平成19年度中国・四国ブロック 緊急消防援助隊合同訓練
平成 19 年 12 月 24 日	化学車1台購入、米子消防署に配置
平成 19 年 12 月 31 日	消防無線基幹改良工事
平成 20 年 1 月 31 日	高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 20 年 4 月 1 日	第9代浦木 昇消防局長就任
平成 20 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 20 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 21 年 1 月 28 日	消防ポンプ自動車1台購入、 生山出張所に配置
平成 21 年 2 月 19 日	高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 21 年 4 月 1 日	消防職員5名採用
平成 21 年 11 月 2 日	高度救助隊発足
平成 21 年 12 月 9 日	国際消防救助隊編成協力市町村の登録
平成 22 年 1 月 26 日	高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 22 年 2 月 15 日	消防ポンプ自動車1台購入、 皆生出張所に配置
平成 22 年 3 月 26 日	高規格救急車1台購入、境港消防署に配置
平成 22 年 4 月 1 日	第10代桑名 強消防局長就任
平成 22 年 4 月 1 日	消防職員定員304名となる。
平成 22 年 4 月 1 日	消防職員14名採用
平成 22 年 4 月 1 日	国際消防救助隊員6名登録
平成 23 年 1 月 14 日	支援車Ⅰ型を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 23 年 2 月 24 日	消防ポンプ自動車2台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 23 年 3 月 7 日	高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 23 年 3 月 12 日 ～ 21 日	東日本大震災により、宮城県南三陸町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
平成 23 年 4 月 1 日	消防職員定員313名
平成 23 年 4 月 1 日	消防職員20名採用
平成 23 年 7 月 2 日	消防救急デジタル無線 一部運用開始(救急業務のみ)
平成 23 年 12 月 9 日	伯耆出張所庁舎改修
平成 23 年 12 月 19 日	消防ポンプ自動車2台購入、伯耆出張所・南部出張所に配置
平成 23 年 12 月 21 日	作業車1台購入、消防局に配置
平成 23 年 12 月 22 日	南部出張所庁舎改修
平成 23 年 3 月 21 日	屈折梯子車1台購入、皆生出張所に配置
平成 24 年 4 月 1 日	消防職員定員322名
平成 24 年 4 月 1 日	消防職員18名採用
平成 24 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 24 年 4 月 13 日	鳥取西部農業協同組合から高規格救急車1台寄贈、中山出張所に配置
平成 24 年 12 月 17 日	消防ポンプ自動車3台購入、境港消防署・大山消防署・江府消防署に配置
平成 25 年 2 月 13 日	化学車1台購入、境港消防署に配置
平成 25 年 2 月 21 日	弓浜出張所庁舎改修
平成 25 年 2 月 28 日	生山出張所庁舎改修
平成 25 年 3 月 11 日	人員搬送車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 25 年 4 月 1 日	第11代武本和之消防局長就任
平成 25 年 4 月 1 日	消防職員定員327名
平成 25 年 4 月 1 日	消防職員15名採用

平成 26 年 2 月 20 日	機動連絡車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 26 年 2 月 25 日	消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 26 年 3 月 6 日	江府消防署庁舎改修、車庫新設
平成 26 年 3 月 13 日	救助工作車Ⅲ型1台購入、皆生出張所に配置
平成 26 年 3 月 14 日	高規格救急車1台購入、南部出張所に配置
平成 26 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 26 年 4 月 1 日	消防職員定員319名
平成 26 年 4 月 1 日	消防職員20名採用
平成 26 年 7 月 3 日	消防広報車1台を購入、消防局に配置
平成 26 年 12 月 22 日	救命ボート1隻を購入、境港消防署へ配置
平成 27 年 1 月 23 日	ボートトレーラー1台を購入、境港消防署に配置
平成 27 年 2 月 25 日	高規格救急自動車1台を購入、米子消防署に配置
平成 27 年 2 月 25 日	消防ポンプ自動車1台を購入、米子消防署に配置
平成 27 年 2 月 26 日	高規格救急自動車1台を購入、伯耆出張所に配置
平成 27 年 3 月 6 日	水難救助支援車1台を購入、境港消防署に配置
平成 27 年 3 月 16 日	米子消防署皆生出張所移転先用地取得 (3,113.11㎡)
平成 27 年 3 月 17 日	高機能消防指令センター更新整備
平成 27 年 4 月 1 日	第12代木山文也消防局長就任
平成 27 年 4 月 1 日	消防職員定員314名
平成 27 年 4 月 1 日	消防職員14名採用
平成 27 年 6 月 30 日	消防査察自動車2台購入、消防局、米子消防署に配置
平成 27 年 7 月 10 日	消防査察自動車1台寄付受納、(株)上田商事様 米子消防署に配置
平成 27 年 12 月 24 日	日南前進基地局(生山無線中継局)解体撤去
平成 28 年 1 月 6 日	大山消防署庁舎空調設備改修
平成 28 年 1 月 6 日	江府消防署庁舎空調設備改修
平成 28 年 2 月 26 日	高規格救急自動車2台を購入、皆生出張所、弓浜出張所に配置
平成 28 年 2 月 29 日	消防ポンプ自動車2台を購入、南部出張所、生山出張所に配置
平成 28 年 3 月 31 日	米子消防署皆生出張所移転先用地造成工事完了
平成 28 年 4 月 1 日	消防職員定員312名
平成 28 年 4 月 1 日	消防職員26名採用
平成 28 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 28 年 4 月 16 日 ～ 21 日	熊本地震により、熊本県益城町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
平成 28 年 6 月 29 日	米子消防署皆生出張所新築移転工事着工(平成29年5月完成予定)
平成 28 年 9 月 20 日	消防査察自動車1台購入、消防局に配置
平成 29 年 1 月 12 日	消防広報車1台を購入、伯耆出張所に配置
平成 29 年 1 月 26 日	高規格救急自動車1台を購入、大山消防署に配置
平成 29 年 2 月 28 日	消防ポンプ自動車2台を購入、米子消防署、伯耆出張所に配置
平成 29 年 3 月 8 日	消防ポンプ自動車1台を購入、弓浜出張所に配置
平成 29 年 4 月 1 日	第13代天野智消防局長就任
平成 29 年 4 月 1 日	消防職員定員314名
平成 29 年 4 月 1 日	消防職員19名採用
平成 29 年 5 月 27 日	米子消防署皆生出張所新築移転工事完了
平成 29 年 6 月 1 日	米子消防署皆生出張所新庁舎運用開始(鉄骨造2階建延面積1320.53㎡)
平成 29 年 11 月 24 日	消防広報車2台を購入、南部出張所、弓浜出張所に配置
平成 29 年 12 月 27 日	消防ポンプ自動車2台を購入、米子消防署、中山出張所に配置

平成 30 年 4 月 1 日	第14代藤山史郎消防局長就任
平成 30 年 4 月 1 日	消防職員定数316名
平成 30 年 4 月 1 日	消防職員18名採用
平成 30 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 30 年 7 月 12 日 ～ 24 日	平成30年7月豪雨により、広島県広島市安芸区及び安芸郡海田町へ緊急消防援助 隊鳥取県隊として出動
平成 31 年 3 月 20 日	高規格救急自動車1台を購入、境港消防署に配置
平成 31 年 3 月 27 日	資機材搬送車1台を購入、米子消防署に配置
平成 31 年 3 月 27 日	消防広報車1台を購入、米子消防署に配置
平成 31 年 4 月 1 日	消防職員定数300名
平成 31 年 4 月 1 日	消防職員11名採用
令和 2 年 3 月 3 日	高機能消防指令センター部分更新整備
令和 2 年 3 月 19 日	高規格救急自動車1台を購入、米子消防署に配置
令和 2 年 3 月 26 日	重機及び重機搬送車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
令和 2 年 4 月 1 日	消防職員定数292名
令和 2 年 4 月 1 日	消防職員8名採用
令和 2 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
令和 3 年 1 月 15 日	タンク車1台を購入、伯耆出張所に配置
令和 3 年 3 月 5 日	指揮車1台を購入、消防局に配置
令和 3 年 3 月 11 日	高規格救急自動車1台を購入、境港消防署に配置
令和 3 年 3 月 19 日	高規格救急自動車1台を購入、江府消防署に配置
令和 3 年 4 月 1 日	消防職員7名採用
令和 3 年 11 月 19 日	タンク車1台納入、江府消防署に配置
令和 3 年 11 月 24 日	指揮車1台納入、境港消防署に配置
令和 4 年 3 月 15 日	高規格救急自動車1台を購入、生山出張所に配置
令和 4 年 4 月 1 日	第15代赤川紀夫消防局長就任
令和 4 年 4 月 1 日	消防職員8名採用
令和 4 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
令和 5 年 2 月 28 日	高規格救急自動車1台を購入、中山出張所に配置
令和 5 年 3 月 1 日	指揮車1台を購入、江府消防署に配置
令和 5 年 3 月 1 日	指揮車1台を購入、大山消防署に配置
令和 5 年 4 月 1 日	消防職員5名採用
令和 5 年 8 月 30 日	大山消防署大規模改修工事完了し、竣工式を実施(敷地面積:1854㎡)
令和 6 年 1 月 9 日 ～ 21 日	令和6年能登半島地震により、石川県穴水町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として 出動
令和 6 年 2 月 1 日	梯子車1台を購入、境港消防署に配置
令和 6 年 3 月 1 日	指揮車1台を購入、米子消防署に配置
令和 6 年 3 月 1 日	消防広報車3台を購入、米子消防署、皆生出張所、大山消防署に配置
令和 6 年 3 月 27 日	米子消防署南部出張所改修工事完了
令和 6 年 4 月 1 日	第16代安達憲吾消防局長就任
令和 6 年 4 月 1 日	消防職員16名採用
令和 6 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣

歴代の管理者・議長

歴代管理者

米子市長	河合弘道	(S47.4.30～S58.4.29)
〃	松本 徹	(S58.4.30～H 3.4.29)
〃	森田隆朝	(H3.4.30～H15.4.29)
〃	野坂康夫	(H15.4.30～H29.4.23)
〃	伊木隆司	(H29.4.24～)

歴代議長

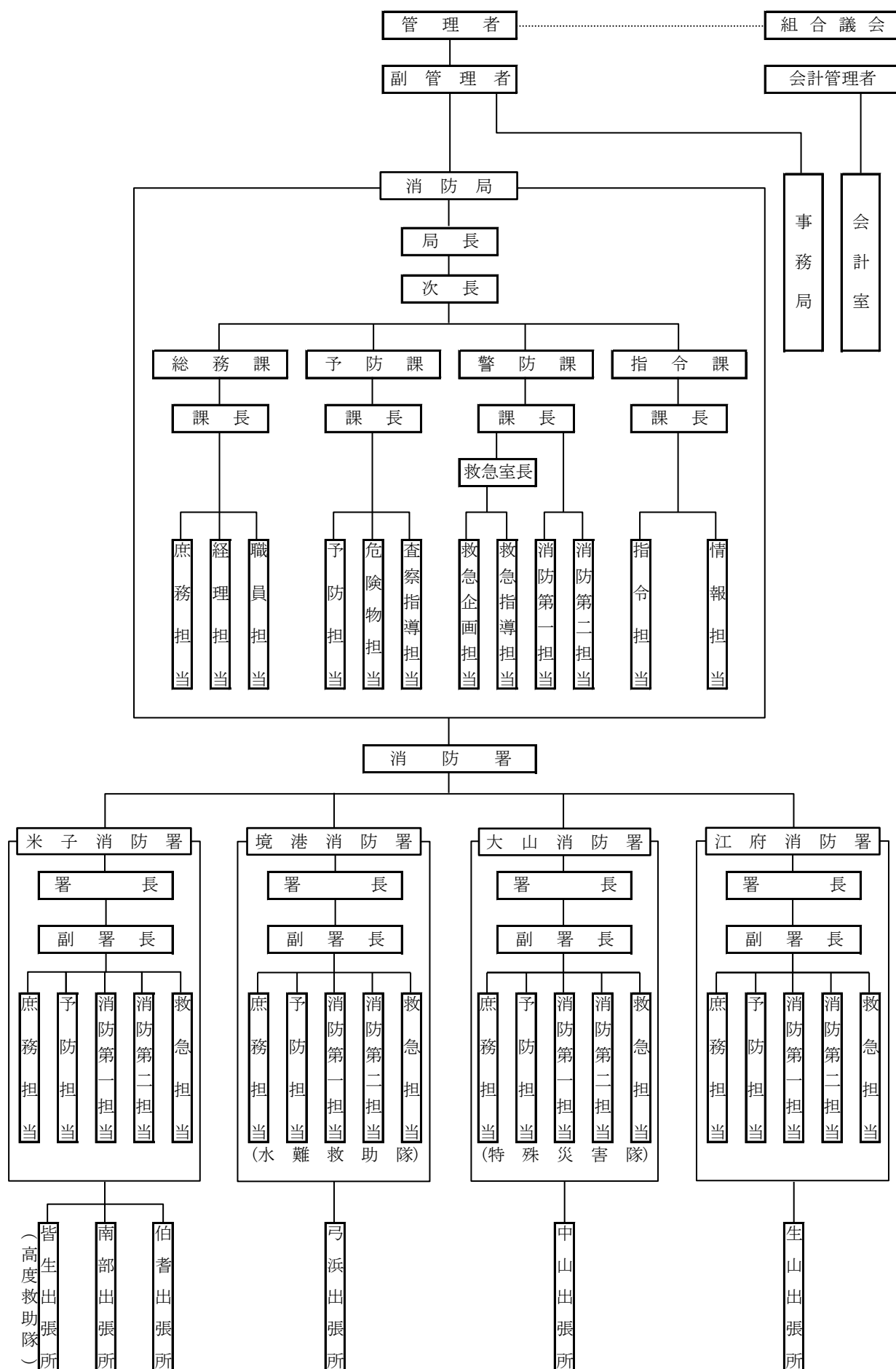
初代	足立六郎	(米子市) S47.8.16～S50.4.30
二代	田丸喜久治	(〃) S50.7.28～S54.4.30
三代	安達昭男	(〃) S54.6.2～S56.6.29
四代	田村繁夫	(〃) S56.10.16～S57.12.9
五代	福谷 清	(〃) S58.1.31～S58.4.30
六代	広江 弼	(〃) S58.6.10～S59.7.19
七代	国尾 茂	(〃) S59.10.8～S61.7.17
八代	茅野恒治	(〃) S61.9.5～S62.4.30
九代	種原敏彦	(〃) S62.6.11～H元.6.23
十代	塚田喜美	(〃) H元.6.23～H3.4.30
十一代	福谷 清	(〃) H3.6.13～H5.6.25
十二代	足芝孝幸	(〃) H5.10.25～H7.4.30
十三代	間瀬庄作	(〃) H7.7.13～H11.4.30
十四代	平田 賢	(〃) H11.7.29～H13.6.22
十五代	中本実夫	(〃) H13.7.12～H15.4.30
十六代	生田 薫	(〃) H15.7.28～H17.3.30
十七代	生田 薫	(〃) H17.4.15～H18.6.30
十八代	吉岡知己	(〃) H18.7.20～H20.7.10
十九代	中村昌哲	(〃) H20.7.25～H22.6.30
二十代	渡辺照夫	(〃) H22.8.24～H24.6.29
二十一代	松井義夫	(〃) H24.6.29～H26.6.30
二十二代	渡辺穰爾	(〃) H26.8.28～H28.8.3
二十三代	尾沢三夫	(〃) H28.8.3～H30.6.30
二十四代	渡辺穰爾	(〃) H30.8.30～R2.6.30
二十五代	岩崎康朗	(〃) R2.11.19～R4.6.30
二十六代	稲田 清	(〃) R4.8.31～

歴代の消防長

歴代消防長・消防局長

初代消防長	名和義則	S51.5.2～S57.3.31
第二代消防長	仲田末男	S57.4.1～S59.6.30
第三代消防長	西田英二	S59.7.1～H元.3.31
第四代消防長	岩佐弘志	H元.4.1～H7.3.31
第五代消防局長	石上洋二	H7.4.1～H13.3.31
第六代消防局長	清水隆	H13.4.1～H14.3.31
第七代消防局長	廣谷耕史	H14.4.1～H17.3.31
第八代消防局長	中田正男	H17.4.1～H20.3.31
第九代消防局長	浦木昇	H20.4.1～H22.3.31
第十代消防局長	桑名強	H22.4.1～H25.3.31
第十一代消防局長	武本和之	H25.4.1～H27.3.31
第十二代消防局長	木山文也	H27.4.1～H29.3.31
第十三代消防局長	天野智	H29.4.1～H30.3.31
第十四代消防局長	藤山史郎	H30.4.1～R4.3.31
第十五代消防局長	赤川紀夫	R4.4.1～R6.3.31
第十六代消防局長	安達憲吾	R6.4.1～

鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図



消 防 機 関 の 出 動 状 況 等

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

種 別 区 分		計 (ア)～(サ)	火 災 (ア)	救 急 (イ)	救 助 (ウ)
消・ 防署 局所	出 動 回 数	15,015	100	13,190	187
	出 動 延 人 員	55,961	1,475	42,937	2,321

救 急 応 援 (エ)	風 水 害 (オ)	そ の 他 警 戒 (カ)	火 災 誤 報 (キ)	演 習 訓 練 (ク)
915	0	253	8	11
6,534	0	1,050	161	80

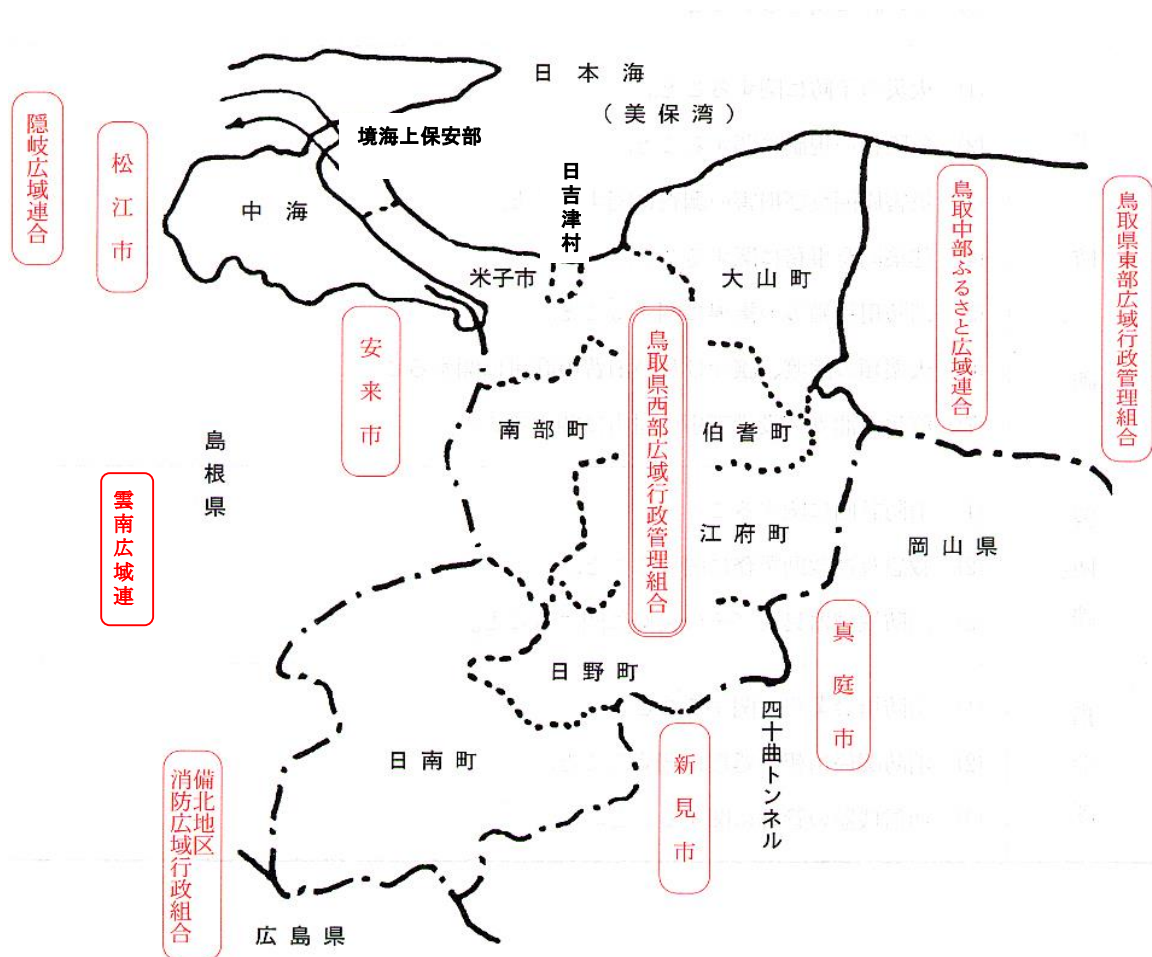
※救急応援の出動延べ人数は、救急隊の出動人数を含む。

訓 練 ・ 指 導 (ケ)	警 防 調 査 (コ)	特 別 警 戒 (サ)
223	63	65
954	228	221

相互応援協定

令和6年4月1日現在

名 称	協 定 団 体	締結・改訂年月日
中海・宍道湖・大山圏域消防相互応援協定	松江市 (島根県) 安来市 (") 出雲市 (")	平成28年 7月 8日
隠岐島の救急業務の共同処理	松江市 (島根県) 出雲市 (") 隠岐広域連合 (")	平成14年 1月 1日 (改)
高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線における消防相互応援に関する協定	真庭市 (岡山県)	平成17年10月 1日 (改)
山陰道 (米子西～安来) における消防相互応援に関する協定	安来市 (島根県)	平成24年 3月14日
鳥取県下広域消防相互応援協定	鳥取県東部広域行政管理組合 鳥取中部ふるさと広域連合	平成19年 4月30日 (改)
鳥取県西部広域行政管理組合と備北地区消防広域行政組合の消防相互応援協定	備北地区消防広域行政組合 (広島県)	平成12年 3月31日
消防相互応援に関する協定書	新見市 (岡山県) 真庭市 (")	平成17年10月 1日 (改)
	雲南広域連合 (島根県)	平成23年 9月 1日 (改)



事 務 分 掌

1 消防局事務分掌

令和6年4月1日現在

総 務 課	(1) 人事、給与、服務及び例規に関する事。 (2) 総合計画及び企画に関する事。 (3) 予算及び経理に関する事。 (4) 消防用財産の管理に関する事。 (5) 職員の研修に関する事。 (6) 他の課に属しない事。
予 防 課	(1) 火災の予防に関する事。 (2) 危険物の規制に関する事。 (3) 災害原因及び損害の調査に関する事。 (4) 建築同意事務に関する事。 (5) 消防用設備等の指導に関する事。 (6) 火薬類の譲渡、譲受け及び消費の許可に関する事。 (7) 液化石油ガス設備工事の届出に関する事。
警 防 課	(1) 警防業務に関する事。 (2) 救助業務に関する事。 (3) 消防機械器具及びその装備に関する事。 (4) 機関業務に関する事。 (5) 救急業務に関する事。
指 令 課	(1) 消防指令業務に関する事。 (2) 消防関係情報の処理に関する事。 (3) 通信機器の管理に関する事。

2 消防署事務分掌

庶務担当	(1) 署内人事及び賞罰に関すること。 (2) 署員の教養訓練及び服務に関すること。 (3) 経理に関すること。 (4) 各種統計に関すること。 (5) 他の分掌に属さないこと。
予防担当	(1) 災害の調査に関すること。 (2) 予防査察に関すること。 (3) 火災予防の届出等に関すること。 (4) 危険物の規制に関すること。 (5) 建築同意に関すること。 (6) 火災予防の啓発及び宣伝に関すること。 (7) 火災の原因及び損害の調査並びに災証明に関すること。 (8) 液化石油ガス設備工事の届出に関すること。
消防第一担当	(1) 水火災、地震等の警戒及び災害防ぎょに関すること。 (2) 水火災の警防計画に関すること。 (3) 消防訓練の実施に関すること。 (4) 災害の情報の処理に関すること。 (5) 救助業務に関すること。 (6) 消防用器具の維持管理に関すること。

消防第二担当	(1) 消防機械に関する教養及び訓練に関すること。 (2) 消防機械の整備、保全及び検査に関すること。 (3) 消防用地理、水利の点検、調査及び情報に関すること。 (4) 通信指令機器の維持管理に関すること。
救急担当	(1) 救急隊業務に関すること。 (2) 救急指定医療機関との連絡調整に関すること。 (3) 救急統計、報告等に関すること。

3 出張所事務分掌

(1) 火災その他災害防ぎょに関すること。 (2) 文書の収受、発送及び記録の整備保全に関すること。 (3) 庁舎の維持管理及び諸物品の保管に関すること。 (4) 所属職員の教養訓練に関すること。 (5) 予防査察に関すること。 (6) 火災予防の届出等に関すること。 (7) 火災予防の啓発、宣伝に関すること。 (8) 火災の原因及び損害の調査並びにり災証明に関すること。 (9) 消防用地理、水利の点検及び調査に関すること。 (10) 消防用器具及び消防機械の整備保全に関すること。 (11) 水火災その他災害情報連絡及び消防通信に関すること。 (12) 救急業務に関すること。 (13) 救助業務に関すること。 (14) その他出張所に関すること。
--

消 防 職 員

(1-1) 職員配置状況

令和6年4月1日現在

	条 例 定 員	実 員	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 職 員
平元.4. 1	253	253	1	2	6	7	33	52	28	112	2
平 2.4. 1	258	258	1	2	6	7	36	57	32	115	2
平 3.4. 1	262	262	1	2	6	11	38	59	33	110	2
平 4.4. 1	264	264	1	2	6	11	43	63	33	103	2
平 5.4. 1	277	277	1	2	6	13	48	63	43	99	2
平 6.4. 1	284	284	1	1	7	14	49	66	53	91	2
平 7.4. 1	284	284	1	2	8	12	54	67	55	83	2
平 8.4. 1	287	284	1	2	8	12	60	71	53	75	2
平 9.4. 1	287	287	1	2	8	12	63	72	53	74	2
平10.4. 1	287	287	1	2	8	12	64	74	56	68	2
平11.4. 1	287	287	1	2	8	12	64	74	56	68	2
平12.4. 1	287	286	1	2	8	13	63	74	56	67	2
平13.4. 1	287	287	1	2	8	14	63	74	57	66	2
平14.4. 1	287	287	1	2	8	15	63	82	51	63	2
平15.4. 1	287	287	1	2	8	15	64	91	38	66	2
平16.4. 1	287	287	1	2	9	33	59	91	37	53	2
平17.4. 1	292	290	1	3	11	38	63	90	36	46	3
平18.4. 1	292	291	1	2	12	47	72	91	29	34	3
平19.4. 1	292	292	1	2	14	45	77	89	28	33	3
平20.4. 1	292	292	1	2	14	47	78	89	27	31	3
平21.4. 1	292	292	1	5	11	49	77	110	3	34	2
平22.4. 1	304	303	1	3	14	54	79	113	11	26	2
平23.4. 1	313	313	1	3	15	62	102	81	4	43	2
平24.4. 1	322	321	1	3	16	68	99	76	0	56	2
平25.4. 1	327	327	1	1	19	75	99	64	14	52	2
平26.4. 1	319	318	1	3	17	64	95	63	20	51	2
平27.4. 1	314	314	1	3	17	75	87	54	26	49	2
平28.4. 1	312	311	1	6	13	73	78	52	30	57	1
平29.4. 1	314	314	1	3	16	74	75	51	36	57	1
平30.4. 1	316	314	1	4	15	69	69	54	39	62	1
平31.4. 1	300	300	1	3	16	59	64	52	54	50	1
令 2.4. 1 (職員定数条例変更)	292	299	1	8	11	58	64	58	58	40	1
令 3.4. 1	292	300	1	8	11	57	66	59	72	25	1
令 4.4. 1	292	298	1	8	11	56	66	58	74	23	1
令 5.4. 1	292	291	1	4	15	57	68	59	68	18	1
令 6.4. 1	292	295	1	3	16	57	69	61	58	29	1

(1-2) 職員配置状況

令和6年4月1日現在

		実 員	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
消 防 局	消防局長	1	1								
	総務課	24		1	1	2	2	1		16	1
	予防課	6			1	3	1	1			
	警防課	7			3	3	1				
	指令課	14		1	1	6	5	1			
	派遣中の者	4				1	2	1			
米子消防署	本 署	53		1	2	8	14	13	9	6	
	皆生出張所	26			1	3	9	10	3		
	南部出張所	13				2	3	3	5		
	伯耆出張所	13				2	3	3	5		
境港消防署	本 署	41			3	7	10	11	9	1	
	弓浜出張所	13				2	3	3	5		
大山消防署	本 署	27			2	7	5	4	6	3	
	中山出張所	13				2	3	3	5		
江府消防署	本 署	27			2	7	5	4	6	3	
	生山出張所	13				2	3	3	5		
合 計		295	1	3	16	57	69	61	58	29	1

(2) 職員在職年数

令和6年4月1日現在

	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
人数	295	1	3	16	57	69	61	58	29	1
平均年数	15	42	38	35	31	15	8	6	1	1
1年未満	17								16	1
1年	5								5	
2年	8								8	
3年	6							6		
4年	7							7		
5年	7							7		
6年	16							16		
7年	17						1	16		
8年	22						17	5		
9年	10						9	1		
10年	17					2	15			
11年	15					5	10			
12年	16					10	6			
13年	15					12	3			
14年	11					11				
15年	4					4				
16年	3					3				
17年	2					2				
18年	2					2				
19年	7				1	6				
20年	1					1				
21年	3					3				
22年	2				2					
23年	5				3	2				
24年										
25年	1				1					
26年	1					1				
27年	5				3	2				
28年										
29年	3			1	2					
30年	11				11					
31年	13				12	1				
32年	4				4					
33年	11			3	7	1				
34年	5			1	4					
35年	10			6	4					
36年	1		1							
37年	4		1	3						
38年										
39年	2			1	1					
40年	1		1							
41年	2			1	1					
42年	2	1			1					
43年										
44年	1					1				
45年										

(3) 職員年齢構成

令和6年4月1日現在

	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
人数	295	1	3	16	57	69	61	58	29	1
平均年齢	36.3	60.0	56.0	54.1	50.7	39.1	30.5	25.8	20.7	43.0
18歳未満										
18歳	7								7	
19歳	6								6	
20歳	6								6	
21歳	6							5	1	
22歳	6							3	3	
23歳	3							3		
24歳	7							6	1	
25歳	14							11	3	
26歳	15						5	9	1	
27歳	10						5	5		
28歳	10						5	5		
29歳	15						7	7	1	
30歳	10						8	2		
31歳	12						11	1		
32歳	9					3	6			
33歳	10					3	6	1		
34歳	8					5	3			
35歳	11					8	3			
36歳	11					9	2			
37歳	5					5				
38歳	3					3				
39歳	4					4				
40歳	4					4				
41歳	6					6				
42歳	6					6				
43歳	5					4				1
44歳	2				1	1				
45歳	3					3				
46歳	5				4	1				
47歳	3				3					
48歳	6				6					
49歳	12				11	1				
50歳	6				6					
51歳	11			3	7	1				
52歳	7			1	6					
53歳	8			4	4					
54歳	5		1	2	1	1				
55歳	5		1	1	3					
56歳	3			2	1					
57歳	2			1	1					
58歳	1			1						
59歳	3		1	1	1					
60歳	3	1			2					
61歳										
62歳						1				

(4) 職員研修

ア 委託研修 (その1)

令和6年4月1日現在

年度別 教育内容		平成 20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	令和 元年	2 年	3 年	4 年	5 年
消防 大学 校	本科																
	幹部科	1												1	1		1
	上級幹部科								1				1				
	予防科				1	1	1	1			1						
	警防科				1			1					1			1	
	救急科			1			1		1		1			1			1
	救助科		1			1			1	1		1			1		
	危険物（保安）科								1			1				1	
	火災原因調査科																
	機械技術者養成科																
	火災調査科									1			1				
	火災調査講習会																
	危機管理セミナー																
	緊急消防援助隊教育科 （NBC対策コース）										1						
	緊急消防援助隊教育科 （指揮隊長コース）					1		1		1		1				1	
	高度救助コース			1			1								1		1
	防災講習会																
	危機管理講習会																
	違反是正特別講習							1									
	査察業務マネジメントコース													1			
	女性活躍推進コース											1					
島根県消防学校																	
山口県消防学校 （水難救助課程）											1	1	1			1	1
救急救命東京研修所		2	2	1	1	1	1	2		2	2	2	2	2		2	2
救急救命九州研修所		2	2	1	1	1	1	2	4	2	2	2	2	2	4	2	2
救急救命士業務実地修練		1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1
海上自衛隊第一術科学校																	
独立行政法人 海洋研究開発機構 （潜水技術研修）																	
海上自衛隊舞鶴潜水技術研修						1	1										
陸上自衛隊化学学校																	
鈴鹿サーキット交通教育																	
安全運転管理者研修			1	1	1	1		2	1	1	1	1	1	1	1	2	2

(4) 職員研修

イ 委託研修(その2)

令和6年4月1日現在

年度別 教育内容		平成 20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	令和 元年	2 年	3 年	4 年	5 年
鳥 取 県 消 防 学 校	初 任 教 育	3	5	14	20	18	15	20	14								
	初 任 総 合 教 育									26	19	18	11	8	7	8	5
	現 任 教 育																
	幹 部 教 育				5												
	上 級 幹 部 教 育						5			5			5			5	
	中 級 幹 部 教 育	5	5	5		5			5			5			5		
	初 級 幹 部 科							5			5			5			
	救 急 I 課 程																
	救 急 II 課 程																
	救 急 科	7		14	20	18	15	20	14								
	救 急 実 務 研 修 会																
	救急救命士講習(挿管)																
	救急救命士講習(薬剤)	8	14														
	外 傷 研 修																
	危 険 物 科				5			5			5			5			4
	救 助 科		4		5		5		5		5		4		5	5	5
	特 殊 災 害 科					5			5			5			5		
	無 線 通 信 科																
	機 関 科																
	火 災 調 査 科						5			5			5			5	
	電 気 設 備 科																
	予 防 査 察 科	5	5			5		5		5		4		5		5	
	警 防 科					5		5		5		5		5		4	
	予 防 科																
	梯子自動車講習会																
	昇 任 者 研 修	6	5														
	指 揮 研 修	5		10	10	10	10						5				5
	管 理 職 研 修			5	5	5											
	警 防 研 修					1	3	3	3		3	3		3	3	3	
	救 助 研 修					3	5	5									
	実火災体験型訓練コース							20	19	20		15					
	ホットトレーニング [®] 2日間コース												12		11	12	
	予防研修(違反是正コース)									5	5	5					
	介 護 研 修													10			
	緊急消防援助隊活性化コース															5	5
	救急救命士活性化コース														5	5	2

(5) 職員採用試験

ア 第一次試験(令和6年4月1日採用)

実施日	実施場所	試験内容	受験者数
令和5年9月17日	西部消防局	教養試験	33名
		適性検査	
		体力試験	

イ 第二次試験(令和6年4月1日採用)

実施日	実施場所	試験内容	受験者数
令和5年10月22日	西部消防局	作文試験	23名
		人物試験 I	

ウ 採用試験実績(過去5年)

年度	受験者数	一次試験合格者数	最終合格者数	競争率
令和元年度	31名	17名	8名	3.8倍
令和2年度	37名	15名	7名	5.2倍
令和3年度	32名	14名	8名	4.0倍
令和4年度	14名	7名	5名	2.8倍
令和5年度	33名	23名	16名	2.1倍

消防予算の状況



消 防 予 算 の 状 況

(1) 令和6年度当初予算額の対前年度比較

(単位:千円)

科	目	令和6年度予算	令和5年度予算	比 較 増 減
(款) 消 防 費		2,969,393	3,149,628	△ 180,335
(項) 消 防 費		2,969,393	3,149,628	△ 180,335
(目) 1 常 備 消 防 費		2,766,076	2,340,197	425,879
(節) 1 報	酬	0	0	0
2 給	料	1,042,110	1,027,018	15,092
3 職 員 手 当 等		709,205	629,335	79,870
4 共 済 費		344,673	338,365	6,308
5 災 害 補 償 費		0	0	0
7 報 償 費		513	328	185
8 旅 費		3,665	5,029	△ 1,364
9 交 際 費		10	10	0
10 需 用 費		180,401	172,667	7,734
11 役 務 費		35,661	37,953	△ 2,292
12 委 託 料		82,283	80,399	1,884
13 使 用 料 及 び 貸 借 料		18,565	13,946	4,619
14 工 事 請 負 費		2,596	0	2,596
15 原 材 料 費		156	156	0
17 備 品 購 入 費		19,766	13,844	5,922
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		24,402	18,912	5,490
21 補 償 補 填 及 び 賠 償 費		0	0	0
24 積 立 金		299,948	0	299,948
26 公 課 費		2,122	2,235	△ 113
(目) 2 消 防 施 設 費		203,317	809,431	△ 606,214
(節) 8 旅 費		129	29	100
10 需 用 費		62	78	△ 16
11 役 務 費		0	621	△ 621
12 委 託 料		11,219	104,080	△ 92,861
13 使 用 料 及 び 貸 借 料		0	30	△ 30
14 工 事 請 負 費		143,047	434,469	△ 291,422
17 備 品 購 入 費		48,860	270,124	△ 221,264
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		0	0	0

(2) 令和6年度当初予算額の財源内訳

(単位:千円)

区 分 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
		国・県支出金	地 方 債	そ の 他	
(款) 消 防 費	2,969,393	22,130	157,400	78,491	2,711,372
(項) 消 防 費	2,969,393	22,130	157,400	78,491	2,711,372
(目) 常備消防費	2,766,076	7,881	0	78,255	2,679,940
(目) 消防施設費	203,317	14,249	157,400	236	31,432

(3) 令和5年度決算額

(単位:円)

科 目	当初予算額	予算現額	決算見込額
(款) 消 防 費	3,149,628,000	3,192,118,000	3,164,315,411
(項) 消 防 費	3,149,628,000	3,192,118,000	3,164,315,411
(目) 1 常備消防費	2,340,197,000	2,458,347,000	2,438,400,241
(節) 1 報酬	0	0	0
2 給料	1,027,018,000	1,019,687,698	1,019,546,688
3 職員手当等	629,335,000	760,166,628	760,166,628
4 共済費	338,365,000	337,724,674	330,738,310
5 災害補償費	0	0	0
7 報償費	328,000	305,000	293,140
8 旅費	5,029,000	4,021,410	3,609,860
9 交際費	10,000	10,000	0
10 需用費	172,667,000	175,623,077	169,066,391
11 役務費	37,953,000	35,875,912	33,633,418
12 委託料	80,399,000	76,443,721	73,798,969
13 使用料及び賃借料	13,946,000	15,237,880	14,858,442
15 原材料費	156,000	156,000	151,294
17 備品購入費	13,844,000	12,627,000	12,584,517
18 負担金補助及び交付金	18,912,000	18,233,000	17,739,384
21 補償補填及び賠償費	0	0	0
24 積立金	0	0	0
26 公課費	2,235,000	2,235,000	2,213,200
(目) 2 消防施設費	809,431,000	733,771,000	725,915,170
(節) 8 旅費	29,000	43,000	21,400
10 需用費	78,000	78,000	69,740
11 役務費	621,000	1,072,245	802,345
12 委託料	104,080,000	96,418,000	89,789,700
13 使用料及び賃借料	30,000	27,050	27,050
14 工事請負費	434,469,000	367,748,755	366,822,430
17 備品購入費	270,124,000	268,383,950	268,382,505
19 負担金補助及び交付金	0	0	0

消 防 施 設



消 防 施 設 等 の 状 況

令和6年4月1日現在

(1) 消防庁舎及び無線中継所の位置・構造

名 称	所 在 地	構 造	建物延面積(㎡)	敷地面積(㎡)
消 防 局	米子市両三柳5452番地	鉄骨鉄筋コンクリート造6階建	3,972.30	6,865.23
主 訓 練 塔		鉄骨鉄筋コンクリート造7階建	637.00	
副 訓 練 塔		鉄骨造2階建	141.00	
米 子 消 防 署	米子市富士見町一丁目103番地1	鉄筋コンクリート造3階建	2,305.35	2,211.85
米 子 消 防 署 皆 生 出 張 所	米子市上福原313番地1	鉄骨造2階建	1,320.53	3,113.11
米 子 消 防 署 南 部 出 張 所	西伯郡南部町清水川3番地1	鉄筋コンクリート造平屋建 (一部鉄骨造)	286.52	749.18
米 子 消 防 署 伯 耆 出 張 所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	〃	281.67	900.96
境 港 消 防 署	境港市中野町2116番地	鉄筋コンクリート造2階建	1,565.70	5,560.00
境 港 消 防 署 弓 浜 出 張 所	米子市大篠津町2913番地1	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建(自動車車庫)	199.88 52.00	746.00
大 山 消 防 署	西伯郡大山町末吉403番地2	鉄骨造2階建 (一部鉄筋コンクリート造)	648.05	1,854.87
大 山 消 防 署 中 山 出 張 所	西伯郡大山町長野880番地3	鉄筋コンクリート造平屋建 (一部鉄骨造)	330.29	1,136.38
江 府 消 防 署	日野郡江府町大字武庫1390番地3	鉄筋コンクリート造 鉄骨造2階建	513.66	1,051.00
江 府 消 防 署 生 山 出 張 所	日野郡日南町生山349番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	229.70	782.20
古 峠 山 無 線 中 継 所	西伯郡伯耆町二部字間地山2143番地1	鉄骨造平屋建ALC板 付属設備(送受信塔)鉄骨 造16.5m	28.73	100.00
鬼 林 山 無 線 中 継 所	日野郡日南町神福字塩滝山2069番地	鉄骨造平屋	20.00	93.10
一 息 坂 無 線 中 継 所	西伯郡大山町羽田井字大谷1420番地	鉄骨造平屋建 付属設備(送受信塔)鉄骨 造17.3m	20.00	107.75

(2) 消防吏員待機宿舍概要

名 称	所 在 地	構 造	建物延面積(㎡)	敷地面積(㎡)
生山北寮(独身寮) 消防待機宿舍北寮	日野郡日南町生山349番地	鉄筋コンクリート造平屋建	107.00	365.14

(3) 消防車両等配置数

車 種 別 推 移			総 数	消 防 ポ ン プ 自 動 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	化 学 消 防 自 動 車	は し ご 付 消 防 自 動 車	救 助 工 作 車	高 発 泡 車	救 急 自 動 車 (2B)	救 急 自 動 車 (高規格)	指 揮 車	査 察 ・ 広 報 車	作 業 車	消 防 艇	電 源 ・ 照 明 車	資 機 材 搬 送 車	そ の 他 車 両
平 10.	4.	1	80	21	4	3	3	3		11	3	5	22	1		1	1	2
平 11.	4.	1	80	21	4	3	3	3		10	4	5	21	1		1	1	3
平 12.	4.	1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	22	1		1	1	3
平 13.	4.	1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	21	1		1	1	4
平 14.	4.	1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	21	1		1	1	4
平 15.	4.	1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	21	1		1	1	4
平 16.	4.	1	81	21	4	3	3	3		7	7	5	21	1		1	1	4
平 17.	4.	1	81	21	4	3	3	3		5	9	5	21	1		1	1	4
平 18.	4.	1	81	21	5	3	3	3		3	11	5	21	1		1	1	4
平 19.	4.	1	82	20	6	3	3	3		2	12	5	21	1		1	1	4
平 20.	4.	1	78	18	6	3	3	3		1	13	5	21	1			1	3
平 21.	4.	1	78	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	3
平 22.	4.	1	78	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	3
平 23.	4.	1	78	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	3
平 24.	4.	1	77	18	6	3	3	3			14	5	20	1			1	3
平 25.	4.	1	80	18	6	3	3	3			14	5	22	1			1	4
平 26.	4.	1	80	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	4
平 27.	4.	1	79	18	6	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 28.	4.	1	79	18	6	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 29.	4.	1	79	19	5	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 30.	4.	1	79	19	5	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 31.	4.	1	79	19	5	3	3	3			14	5	19	1			1	6
令 2.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 3.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 4.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 5.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 6.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7

令和6 ・ 4 ・ 1	消 防 局		15							2	1	6	1				5	
	米消 防 子署	本 署	14	4		1	1			2	1	4				1		
		皆生出張所	6	1	1		1	1			1		1					
		南部出張所	4	2							1		1					
		伯耆出張所	4	1	1						1		1					
	境消 防 港署	本 署	12	2		2	1	1			2	1	1				2	
		弓浜出張所	4	2							1		1					
	大消 防 山署	本 署	5	1	1						1	1	1					
		中山出張所	4	2							1		1					
	江消 防 府署	本 署	6	1	1			1			1	1	1					
		生山出張所	4	2							1		1					
	計			78	18	4	3	3	3	0	0	14	5	19	1	0	0	1

(4) 消防車両概況

所属	車 号	登 録 番 号	車 名	機 装	購入年月日	摘 要
消防局	局 救 急 1 号 車	鳥取800さ6026	トヨタ	高規格車 4WD	平成24. 3. 22	消防庁補助
	局 救 急 2 号 車	鳥取800さ5708	トヨタ	高規格車 4WD	平成23. 2. 26	消防庁補助
	局 指 揮 車	鳥取800さ8814	トヨタ	支援車Ⅳ型	令和 3. 3. 5	消防庁補助
	機 動 連 絡 車	鳥取800さ6630	トヨタ		平成26. 2. 20	総務省より無償使用
	広 報 1 号 車	鳥取400せ 782	トヨタ		平成26. 7. 3	
	広 報 3 号 車	鳥取500ね 325	ニッサン		平成18. 11. 24	寄贈 米子危保協会
	局 査 察 1 号 車	鳥取580に4755	ニッサン		平成27. 6. 30	
	局 査 察 2 号 車	鳥取480け9376	三菱		平成28. 9. 23	
	局 査 察 3 号 車	鳥取480こ3713	ダイハツ		平成29. 6. 5	
	局 査 察 5 号 車	鳥取580た3212	三菱		平成24. 7. 23	
	支 援 車	鳥取800は 512	日野	支援車 I 型	平成23. 1. 12	総務省より無償使用
	人 員 輸 送 車	鳥取800さ6302	トヨタ	マイクロバス	平成25. 3. 11	総務省より無償使用
	連 絡 車	鳥取300た1821	ニッサン		平成16. 5. 27	
	作 業 車	鳥取800さ5938	いすゞ	積載 2t	平成23. 12. 21	
	重 機 搬 送 車	鳥取800さ 934	三菱ふそう	5t重機	令和 2. 3. 26	総務省より無償使用
米子消防署	1 号 車	鳥取800さ6632	日野	CD－ I ・A2	平成26. 2. 21	消防庁補助
	2 号 車	鳥取800さ6934	日野	CD－ I ・A2	平成27. 2. 25	消防庁補助
	3 号 車	鳥取800さ7630	日野	CD－ I ・A2	平成29. 3. 15	消防庁補助
	5 号 車	鳥取800さ7910	日野	CD－ I ・A2	平成30. 1. 30	消防庁補助
	化 学 車	鳥取800は 387	日野	Ⅱ型・A2	平成19. 12. 14	
	梯 子 車	鳥取800は 110	ニッサンD	40m級	平成13. 3. 16	消防庁補助
	救 急 1 号 車	鳥取800さ6933	ニッサン	高規格車 4WD	平成27. 2. 25	
	救 急 2 号 車	鳥取800さ8546	トヨタ	高規格車 4WD	令和 2. 3. 19	消防庁補助
	指 揮 車	鳥取800さ8814	トヨタ		令和 6. 3. 25	
	資 材 搬 送 車	鳥取800さ8247	いすゞ	積載 2t	平成31. 3. 27	
	米子広報1号車	鳥取800さ9672	ニッサン		令和 6. 3. 28	
	米子広報2号車	鳥取400せ5355	ニッサン		平成30. 8. 28	
	米子査察1号車	鳥取580に4702	ニッサン		平成27. 6. 30	
	米子査察2号車	鳥取580に5477	三菱		平成27. 7. 10	寄贈 上田商事
皆生出張所	1 号 車	鳥取800さ5365	日野	CD－ I ・A2	平成22. 2. 15	
	タ ン ク 車	鳥取800は 292	日野	I－B・A2	平成18. 2. 28	消防庁補助
	救 助 工 作 車	鳥取800は 641	日野	Ⅲ型	平成26. 3. 10	消防庁補助
	屈 折 梯 子 車	鳥取800は 556	日野	15m級	平成24. 3. 21	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ7305	トヨタ	高規格車 4WD	平成28. 2. 26	消防庁補助
	広 報 車	鳥取800さ9673	ニッサン		令和 6. 3. 28	
南部出張所	1 号 車	鳥取800さ5955	日野	CD－ I ・A2	平成23. 12. 19	
	2 号 車	鳥取800さ7299	日野	CD－ I ・A2	平成28. 2. 29	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ6647	トヨタ	高規格車 4WD	平成26. 3. 5	消防庁補助
	広 報 車	鳥取880あ 870	ニッサン		平成29. 12. 21	

所属	車 号	登 録 番 号	車 名	機 装	購入年月日	摘 要
伯耆出張所	タンク車	鳥取800さ975	日野	I－B・A2	令和 3. 1. 15	消防庁補助
	2 号 車	鳥取800さ7629	日野	CD－ I ・A2	平成29. 3. 15	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ6938	トヨタ	高規格車 4WD	平成27. 2. 26	消防庁補助
	広 報 車	鳥取880あ 804	ニッサン		平成29. 1. 30	
境港消防署	1 号 車	鳥取800さ5956	日野	CD－ I ・A2	平成23. 12. 19	
	2 号 車	鳥取800さ6234	日野	CD－ I ・A2	平成24. 12. 17	
	救 助 工 作 車	鳥取800は 51	日野	Ⅱ型	平成12. 2. 21	防衛省補助
	ボートトレーラ	鳥取800る 147	シーマリン		平成27. 1. 22	
	化 学 1 号 車	鳥取88 は 107	日野	Ⅳ型・A1	平成13. 2. 28	防衛省補助
	化 学 2 号 車	鳥取800は 584	日野	Ⅱ型・A2	平成25. 2. 13	防衛省補助
	梯 子 車	鳥取800は1126	日野	30m級	令和 6. 2. 15	防衛省補助
	救 急 1 号 車	鳥取800さ8823	トヨタ	高規格車 4WD	令和 3. 3. 11	防衛省補助
	救 急 2 号 車	鳥取800さ8244	トヨタ	高規格車 4WD	平成31. 3. 20	防衛省補助
	指 揮 車	鳥取800さ9004	トヨタ		令和 3. 11. 24	
	境 港 広 報 車	鳥取880あ 95	ダイハツ		平成18. 8. 7	
	水難救助支援車	鳥取800さ6951	トヨタ		平成27. 3. 6	
弓浜出張所	1 号 車	鳥取800さ5713	日野	CD－ I ・A2	平成23. 2. 25	消防庁補助
	2 号 車	鳥取800さ7635	日野	CD－ I ・A2	平成29. 3. 13	防衛省補助
	救 急 車	鳥取800さ7307	トヨタ	高規格車 4WD	平成28. 2. 26	防衛省補助
	広 報 車	鳥取880あ 871	ニッサン		平成29. 12. 21	
大山消防署	1 号 車	鳥取800さ6233	日野	CD－ I ・A2	平成24. 12. 17	
	タンク車	鳥取800は 337	日野	I－B・A2	平成19. 2. 23	
	救 急 車	鳥取800さ7601	トヨタ	高規格車 4WD	平成29. 2. 28	
	指 揮 車	鳥取800さ9410	トヨタ		令和 5. 3. 1	
	広 報 車	鳥取800さ9674	ニッサン		令和 6. 3. 28	
中山出張所	1 号 車	鳥取800さ5714	日野	CD－ I ・A2	平成23. 2. 25	消防庁補助
	2 号 車	鳥取800さ7909	日野	CD－ I ・A2	平成30. 1. 30	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ9405	トヨタ	高規格車 4WD	令和 5. 2. 28	
	広 報 車	鳥取80 あ1132	ダイハツ		平成16. 3. 5	
江府消防署	1 号 車	鳥取800さ6232	日野	CD－ I ・A2	平成24. 12. 17	
	タンク車	鳥取800は1011	日野		令和 3. 11. 19	
	救 助 工 作 車	鳥取800さ2568	日野	Ⅱ型	平成15. 3. 20	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ8824	トヨタ	高規格車 4WD	令和 3. 3. 19	消防庁補助
	指 揮 車	鳥取800さ9409	トヨタ		令和 5. 3. 1	
	江 府 広 報 車	鳥取800さ6282	ニッサン		平成25. 2. 27	
生山出張所	1 号 車	鳥取800さ7300	日野	CD－ I ・A2	平成28. 2. 29	消防庁補助
	2 号 車	鳥取800さ5044	日野	CD－ I ・A2	平成21. 1. 28	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ9104	トヨタ	高規格車 4WD	令和 4. 3. 15	消防庁補助
	広 報 車	鳥取80 あ1133	ダイハツ		平成16. 3. 5	

消防ポンプ自動車18 タンク車4 救助工作車3 化学車3 梯子車3

救急車14 指揮車5 広報車13 査察車6 作業車1 人員輸送車1

支援車1 資機材搬送車1 連絡車1 ボートトレーラー1 機動連絡車1 水難救助支援車1 重機搬送車1

(5) 救急・救助

(5-1) 救急隊配置場所

配 置 場 所	車 両 区 分	隊 数
米 子 消 防 署	高 規 格 救 急 車	2 隊
皆 生 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊
南 部 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊
伯 耆 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊
境 港 消 防 署	高 規 格 救 急 車	2 隊
弓 浜 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊
大 山 消 防 署	高 規 格 救 急 車	1 隊
中 山 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊
江 府 消 防 署	高 規 格 救 急 車	1 隊
生 山 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊

(5-2) 高規格救急車積載一覧

積 載 器 具 名		数 量	積 載 器 具 名		数 量
心 電 図 伝 送 装 置		1 式	感染防止用資材セット		3 式
半自動式除細動器		1 式	舌 圧 子		3
ベッドサイドモニター		1 式	舌 鉗 子		1
自動式人工呼吸器		1 式	マギール鉗子	大・小	各 1
心 電 計		1 式	ネックカラー	大・中・小	各 1
全身固定用具		1 式	万能ハサミ		2
在宅医療セット		1 式	フェイスマスク	大・中・小	各 2
頭 部 固 定 具		1 式	輸 液 セ ッ ト	三方活栓付チューブ	4
新生児用資器材		1 式	乳酸リンゲル液		5
携 帯 電 話		1	留 置 針	18・20・22	適 量
携 帯 無 線 機		1	アドレナリン		5
電 動 吸 引 器		1 式	経口エアウェイ	大・中・小・極小	各 1
陰 圧 式 固 定 具		1 式	経鼻エアウェイ	6・7・8・9	適 量
バ ッ ク ボ ード		1 式	鼻 カ ニ ュ ー レ		1
バッグマスクセット		1 式	ク リ ー ン ネ ッ ト		1
喉 頭 鏡 セ ッ ト		1 式	洗 面 器		1
メインストレッチャー		1	尿 器		1
スクープストレッチャー		1	開 口 器		1
サブストレッチャー		1	吸引カテーテル		適 量
ユニオン担架		1	医療廃棄物回収容器		1
布 担 架		1	洗 眼 器		1
酸 素 ボ ン ベ	10リットル	2	気管内挿管チューブ	4・5・7・8・9	適 量
減 圧 弁		2	気管切開カニューレ		適 量
酸素加湿流量計	二連	1	〃 マスク		適 量
血 圧 計	アネロイド・ハンド式	各 1	ピ ン セ ッ ト		1
聴 診 器		3	ス タ イ レ ッ ト		4
温 ・ 冷 蔵 庫		1	プラスチックグローブ		適 量
救 命 浮 環		1	手 術 用 手 袋		適 量
ガラス破壊器具		1	デ ィ ス ポ 電 極	心電計用	適 量
万 能 斧		1	三 角 布		適 量
レスキューシザー		1	不 織 布 ガ ー ゼ		適 量
バ ー ル		1	滅 菌 ガ ー ゼ		適 量
サ ー チ ラ イ ト		4	各 種 テ ー プ		適 量
水 中 め が ね		2	紙 マ ス ク		適 量
トリアージタグ		適 量	消 毒 綿		適 量
毛 布		2	梯 状 副 子	大・中・小	各 1
食道閉鎖式エアウェイ		適 量	砂 の う		3
酸 素 マ ス ク		適 量	固 定 用 ベ ル ト		2
救 急 シ ー ト		1	シ リ ン ジ	10・20・30mm	各 1
雨 覆 い シ ー ト		1	冷 却 パ ッ ク		2
駆 血 帯		3	患者搬送記録・搬送証		適 量
止 血 帯	ケース入	1	救 命 処 置 記 録 票		適 量
体 温 計		1	住 宅 地 図		1 式
円 座 ま く ら		1	ブ ド ウ 糖		4
ま く ら		1	血 糖 測 定 器		1 式
自動式心マッサージ器		1 式			

(5-3) 救助隊配置場所

配 置 場 所	隊 区 分	車 両 区 分
米 子 消 防 署	救 助 隊	化学消防自動車(Ⅱ型)
境 港 消 防 署	救 助 隊 兼 水 難 救 助 隊	救 助 工 作 車 (Ⅱ 型)
大 山 消 防 署	救 助 隊 兼 特 殊 災 害 隊	水 槽 付 消 防 自 動 車
江 府 消 防 署	救 助 隊	救 助 工 作 車 (Ⅱ 型)
皆 生 出 張 所	高 度 救 助 隊	救 助 工 作 車 (Ⅲ 型)

(5-4) 高度救助用資機材一覧

機 材 名	規 格
画 像 探 索 機 I 型	オリンパス IV8675L1-SV90セット(一式)
画 像 探 索 機 II 型	オリンパスIPLEX-UltraLife IV8635U(一式)
地 中 音 響 探 知 機	サウンドトレーサーAK-6(一式)
熱 画 像 直 視 装 置	エボリューション6000(MSA)(一式)
夜 間 用 暗 視 装 置	ナイトスコープ エクスノクス ×650(一式)
地 震 警 報 器	サクラ Qアラート マークⅡ(一式)

(5-5) 救助工作車(Ⅲ型)積載一覧

積 載 器 具 名			数 量	積 載 器 具 名			数 量
かぎ付き梯子	3.1m		1	耐電ヘルメット			2
三連梯子	8.7m		1	耐電長靴			2
三連梯子用キット	クレーン、水平2法	1 式		ハイブリット対応セット			1 式
救命索発射銃	レステックエア	1 式		安全帯			1
救助用縛帯	クイックストラップ	1		信号機付投光器			1 式
救助用縛帯	ピタゴール	1		ランタン	大、小		2
救助用縛帯	エバックハーネス	1		ケミカルライト			適量
救助用縛帯	レスキュースリング	1		携帯拡声器			2
検索用バッグ	ザイル、簡易縛帯	1 式		携帯GPS	ガーミン		1
バスケット担架		1		双眼鏡	測距計		1
スケッドストレッチャー		1		双眼鏡	双眼鏡		1
バックボード一式		1		点滅棒			3
ナイロンロープ	小綱、巻ロープ	適量		カラーコーン			5
カラビナ		適量		消火器			1
滑車	ワイドプリーTR-300	適量		デジカメ			1
都市型救助資機材	ザイル、ギア他	1 式		張力計	ダイナホール5t型		1
油圧ジャッキ	プランジャーラム	1 式		救急バック			1 式
電動油圧スプレッダー	ルーカス	1 式		要救助者用ヘルメット			2
可搬ウインチ	チルホールT35	1 式		要救助者用毛布			2
ワイヤーロープ	1.6m、4m、5m	5		プライバシー保護シート			1
Vスリング	3m、5m	9		毛布			適量
救助用三脚	テラダプター	1 式		発電機			1
マット型空気ジャッキ	レスキューテック23t、58t、132t	1 式		予備燃料	混合ガソリン		適量
マット型空気ジャッキ	リフトバック1t、3t、5t	1 式		予備電池			適量
大型油圧スプレッダー	ホルマトロ	1 式		鳶口			1
電動油圧切断機	ルーカスカッター	1		レスキューシザー			1
エンジンカッター		1		グラスマスター			2
ガス溶断機	ペトロカッター	1		バー			1
チェーンソー		1		アングルカッター			2
レシプロソー	ヒルティ	1 式		工具セット			2 式
鉄筋カッター	オグラ	1 式		絶縁工具セット			1 式
ペダルカッター	ホルマトロ	1 式		パイプレンチ			1
空気鋸	タイガーエアソー	1 式		検電器			1
大型油圧切断機	ホルマトロカッター	1 式		ステップチョーク			2 式
空気切断機	パクハンマー	1 式		レスキューブロック			適量
万能斧	レスキューアックス	1		あて木			適量
大斧		1		エアーバックセーフ	運転席用		1
大ハンマー	防爆ハンマー	1		指揮板			1
コンクリート破壊器具	レッドワン	1 式		サルベージシート			2
ハンマードリル	ヒルティ	1 式		トランスポートバック			2
可燃ガス測定器	GX8000	1		水難救助バック	救命胴衣		1 式
可燃ガス測定器	コスモス	1		吸着マット			適量
熱画像直視装置	エボリューション	1		ACライト			適量
空気呼吸器	M30	2		レーザー距離計			1
予備ボンベ	4.7ℓ	4		デッキブラシ			2
簡易呼吸器	パラートC	2		のこぎり			2
送排風機	ダクト10m	1 式		なた			4
耐電衣(上下)		2		鎌			1
MTターボ		1		おたふく			1
モーションスカウト		5		だるまジャッキ			1
グライNDER		1		レスキューブランケット			1

(6) 通信施設

指令施設

指令台	3式	指令用ディスプレイ 地図用ディスプレイ 支援情報ディスプレイを装備
指揮台	1式	
無線統制台	1式	
署所端末装置	11式	
各種表示盤	1式	支援情報表示盤・車両運用表示盤・多目的情報表示装置
Eメール指令装置	1式	

有線通信設備

119番専用回線	17回線	
固定電話回線	17回線	IP電話・FAX119・転送
携帯電話回線	4回線	
ヘルプネット回線	2回線	
一般加入電話	15回線	
火災情報案内電話	7回線	
専用線	署所端末装置専用線	10回線
	防災関係機関専用線	3回線
指令用光回線	1式	全消防拠点

無線通信設備

無線回線制御装置			1式	デジタル無線設備用
固定局	VSAT地球局		1局	鳥取県地域衛星通信ネットワーク
	多重	消防局	1局	マイクロ7.5G(デジタル併用)
		古峠山局	1局	マイクロ7.5G(デジタル併用)
	簡易多重	鬼林山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		一息坂局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		生山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		中山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
	基地局	デジタル	古峠山局	1局
		鬼林山局	1局	
		一息坂局	1局	
陸上移動局	車載型		69局	デジタル5W
	携帯型		77局	デジタル1W
	可搬型		5局	デュアル5W/10W
	卓上型		11局	デジタル5W
	署活系携帯型		12局	アナログ1W

通信系統図

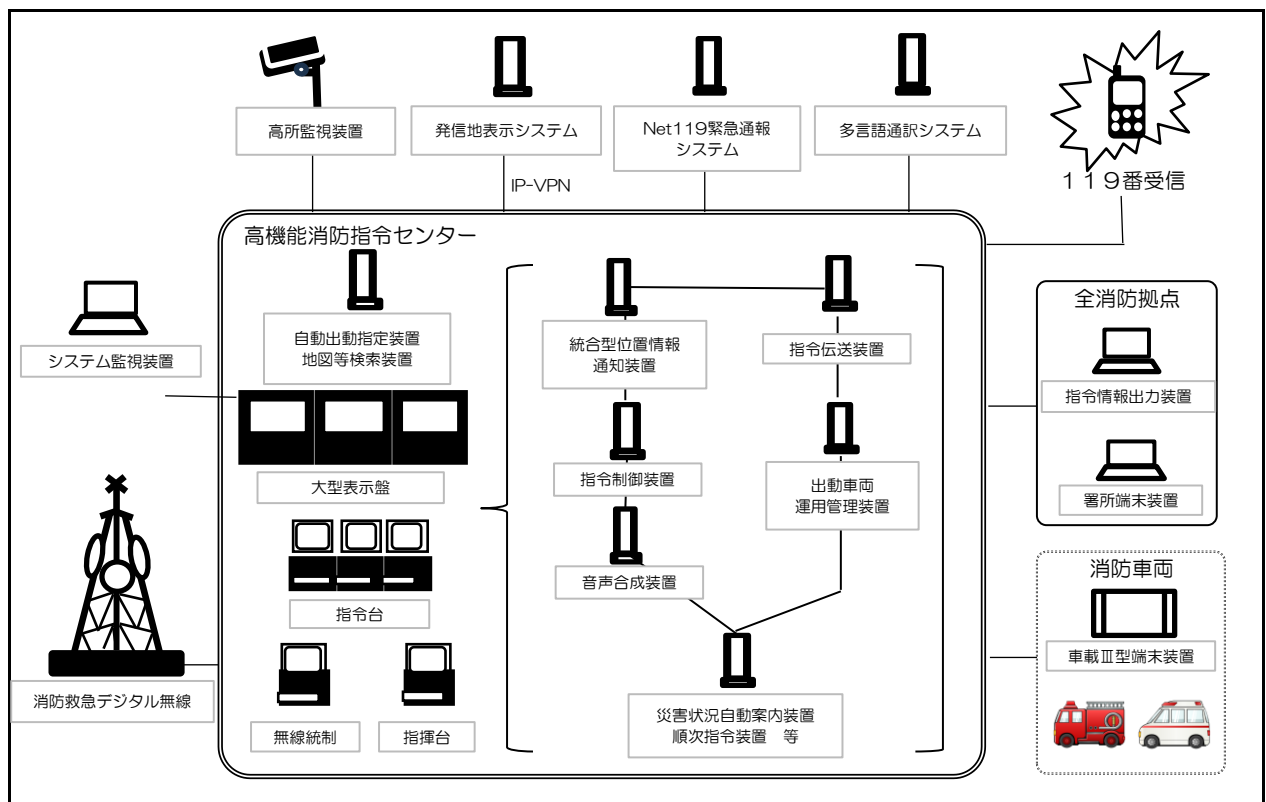
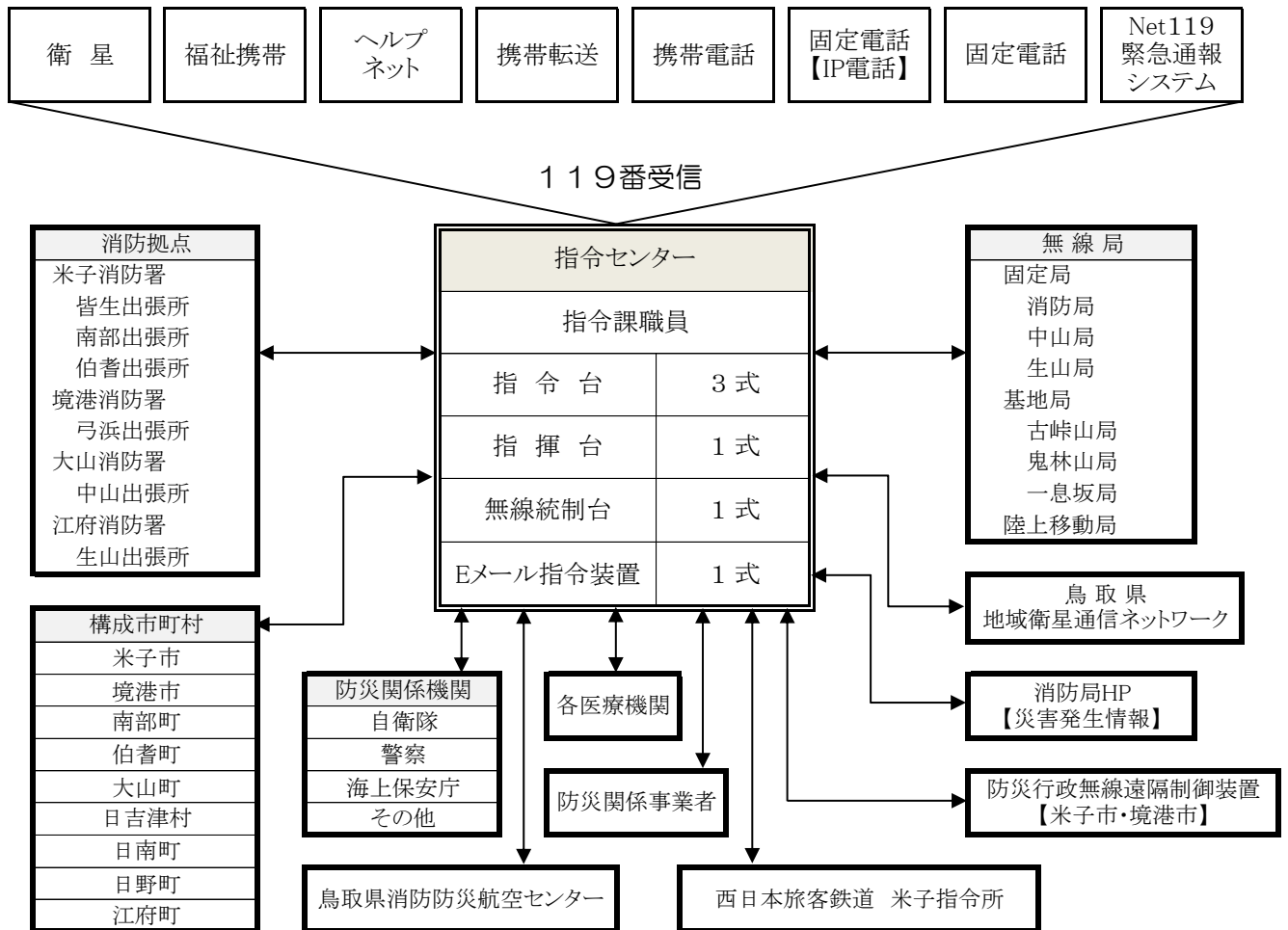


図 指令センター構成イメージ

予

防



防

(1) 防火対象物の現況

令和6年3月31日現在

項 別 種 別		(1)		(2)			(3)		(4)	(5)		(6)				(7)	(8)	
		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ		ロ	イ	ロ	ハ	ニ				
対 象 物 種 別		劇場、映画館、演芸場又は観覧場	公会堂又は集会場	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	遊技場又はダンスホール	性風俗関連特殊営業店舗	カラオケボックス等	待合、料理店その他これらに類するもの	飲食店	百貨店、マーケット、店舗又は展示場	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	寄宿舎、下宿又は共同住宅	病院、診療所、又は助産所	老人短期入所施設、養護老人ホーム	老人デイサービスセンター等	幼稚園、特別支援学校	小中学校、高校、大学、各種学校等	図書館、博物館、美術館等
延べ面積150㎡以上のもの		17	131		22		7	1	227	431	170	1,952	208	133	272	19	338	27
防火管理者を選任すべきもの		16	117		20		7	1	200	288	101	180	52	98	140	12	90	13

項 別 種 別		(9)		(10)	(11)	(12)		(13)		(14)	(15)	(16)		16 の 2	16 の 3	(17)	(18)	
		イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ					
対 象 物 種 別		蒸気浴場、熱気浴場等	イに掲げる以外の公衆浴場	停車場、船舶又は航空機の発着場	神社、寺院、教会等	工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ	自動車車庫又は駐車場	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	倉庫	前項号に該当しない事業所	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	地下街	準地下街	重要文化財・重要美術品等の建築物	延長五十メートル以上のアーケード	合 計
延べ面積150㎡ 以上のもの		13	6	5	169	1,118		140	9	951	1,344	600	170			12	2	8,494
防火管理者を 選任すべきもの		3	3	2	68	83				16	196	302	23			1		2,032

(2) 各種届出事務処理の状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

項 目	消 防 計 画 作 成 (変 更) 届 出 書	防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届 出 書	防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	防 火 対 象 物 点 検 報 告 特 例 認 定 申 請 書	防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	煙 火 打 上 げ 仕 掛 け 届 出 書	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 の 貯 蔵 又 は 取 扱 開 始 届 出 書	消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	炉 ・ 厨 房 ・ ボ イ ラ ー 等 設 置 届	変 ・ 発 ・ 蓄 電 池 等 設 置 届	少 量 危 険 物 ・ 指 定 可 燃 物 等 の 貯 蔵 又 は 取 扱 開 始 届 出 書	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届
受理数	458	401	146	21	7	0	119	3,961	24	122	89	193

(3) 防火対象物の用途別査察状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

査察件数

1	イ	劇 場、映 画 館、演 芸 場 又 は 観 覧 場	4
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	19
2	ロ	遊 技 場 又 は ダ ン ス ホ ー ル	3
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	
	ロ	飲 食 店	41
4		百 貨 店、マ ー ケ ッ ト、店 舗 又 は 展 示 場	60
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	66
	ロ	寄 宿 舎、下 宿 又 は 共 同 住 宅	21
6	イ	病 院、診 療 所、又 は 助 産 所	8
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設、養 護 老 人 ホ ー ム	25
	ハ	老 人 デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	58
	ニ	幼 稚 園、特 別 支 援 学 校	1
7		小 中 学 校、高 校、大 学、各 種 学 校 等	70
8		図 書 館、博 物 館、美 術 館 等	10
9	イ	蒸 気 浴 場、熱 気 浴 場 等	1
	ロ	イ に 掲 げ る 以 外 の 公 衆 浴 場	
10		停 車 場、船 舶 又 は 航 空 機 の 発 着 場	
11		神 社、寺 院、教 会 等	17
12	イ	工 場 又 は 作 業 場	104
13	イ	自 動 車 車 庫 又 は 駐 車 場	12
	ロ	飛 行 機 又 は 回 転 翼 航 空 機 の 格 納 庫	
14		倉 庫	59
15		前 項 号 に 該 当 し な い 事 業 所	92
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	61
	ロ	イ に 掲 げ る 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	12
17		重 要 文 化 財・重 要 美 術 品 等 の 建 築 物	14
18		延 長 五 十 メ ー ト ル 以 上 の ア ー ケード	
		合 計	760

(4) 建築同意の用途別事務処理状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

区 分		合 計	新築	増築	その他
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場			
2	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等			
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店	8	6	1
4		百 貨 店 ・ 店 舗 等	11	10	1
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル			
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	15	14	1
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	11	8	2
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	5	2	3
	ハ	老 人 デ ィ サ ー ビ ス 等	2		2
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等			
7		学 校	1		1
8		図 書 館 ・ 美 術 館	1	1	
9	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等			
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場			
10		車 両 の 停 車 場 等			
11		神 社 ・ 寺 院 等			
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	23	9	12
	ロ	テ レ ビ ス タ ジ オ 等			
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場	6	4	2
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫	1		1
14		倉 庫	16	12	4
15		前各号に該当しない事業所	48	37	8
16	イ	特別防火対象物が存する 複合用途防火対象物	8	5	2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	2		2
17		重 要 文 化 財			
18		50m 以 上 の ア ー ケード			
		対 象 物 外	8	8	
一般住宅		専 用 住 宅	31	29	2
		長 屋 住 宅	33	33	
合 計			230	178	42
					10

(5) 危険物製造所等の地区別施設件数

令和6年3月31日現在

施設 市町村名	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般
米 子 市	395		54	21	11	99		62	7	80	1		60
境 港 市	367	1	24	69	3	47		101	42	39		1	40
日 吉 津 村	9		1			1			1	6			
大 山 町	109		5	5	5	53		11	3	16			11
南 部 町	39		7	1	1	10		9		6			5
伯 耆 町	70		3	4	3	36		2	1	13			8
日 南 町	33			3	1	11		6		8			4
日 野 町	21		2	2	1	9				4			3
江 府 町	24		1			7		1		8			7
合 計	1,067	1	97	105	25	273		192	54	180	1	1	138

(6) 危険物製造所等の事務処理件数

令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設 区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般
設 置 許 可	18	1		5	1	2		1					8
変 更 許 可	64			15	1	4		1		33		2	8
設 置 完 成 検 査	6				1	3		1					1
変 更 完 成 検 査	60			13	1	4		1		32		1	8
仮 使 用 承 認	47			9	1	1				29		1	6
完 成 検 査 前 検 査	22												
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	84												
品 名 ・ 数 量 等 変 更 届	4												
譲 渡 引 渡 届	7												
設 置 者 等 変 更 届	30												
廃 止 届	21												
保安監督者選解任届	126												
使用休止再開届	7												

(7) 危険物施設査察状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

製造所	貯蔵所							取扱所				計
	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
	7	8		40		27	1	36	1		21	141

(8) 火薬類取締法関係

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	区 分	件 数
許可	譲渡許可	
	譲受許可	
	譲受・消費許可	20
	煙火消費許可	52
	合 計	72

	区 分		件 数
立入検査	消 費 場 所	採 石	7
		土 木	4
		そ の 他	1
	煙 火 消 費 許 可		43
	合 計		55

(9) 液化石油ガス法関係

令和5年4月1日～令和6年3月31日

処 理 内 容	件 数
液化石油ガス設備工事届受理	13

火災概況



I 火災概況

1 火災件数と死傷者数

令和5年は91件で、前年と比較して2件減少しました。91件のうち、建物火災が38件（41.8%）を占め、半数が住宅から発生しています。

この10年間の火災件数をみると、平均して100件前後で推移していますが、令和2年より、4年連続で100件以下となり、減少傾向にあります。

火災による死者は8人で、負傷者は9人でした。

死者8人のうち、5人が65歳以上の高齢者で63%を占めています。

図 I - 1 火災件数

(件)

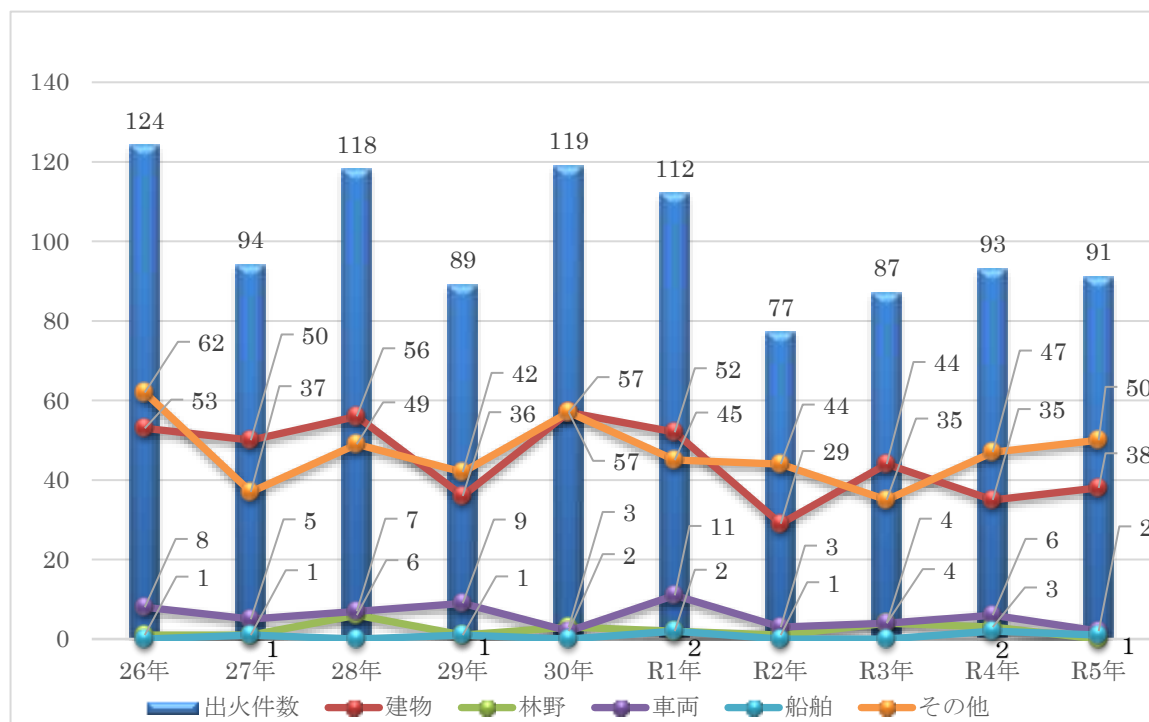
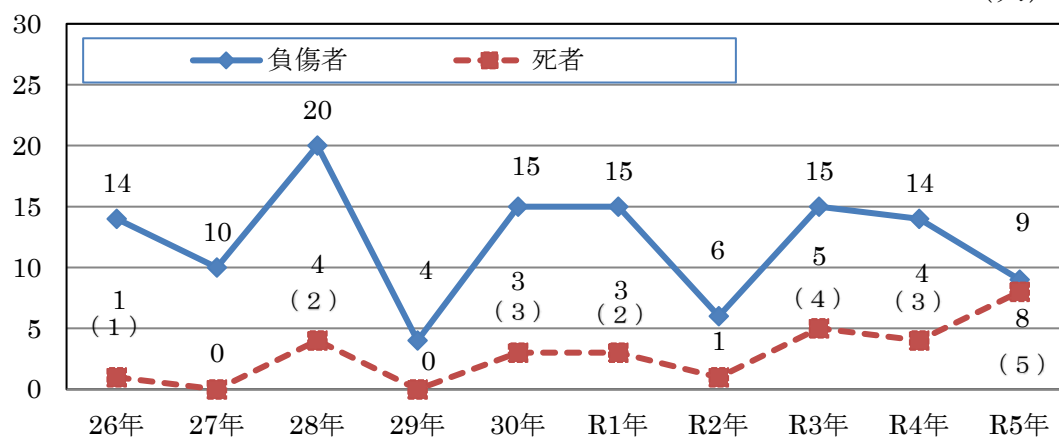


図 I - 2 死傷者数

(人)



※ () は、65歳以上の高齢者

2 出火状況

火災件数の構成比率をみると、その他火災が54.9%で最も高い比率を占め、その次に建物火災が41.8%となっています。

火災種別ごとの出火件数を月別でみると、その他火災は50件で3月、5月に多く発生し、建物火災は38件で3月、8月、9月に多く発生しています。

3月から5月までの間に34件発生しています。

図 I - 3 火災種別件数

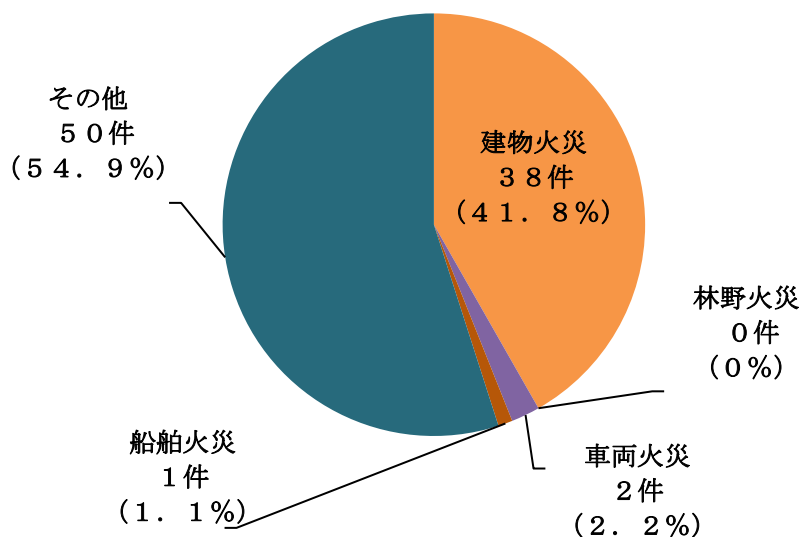
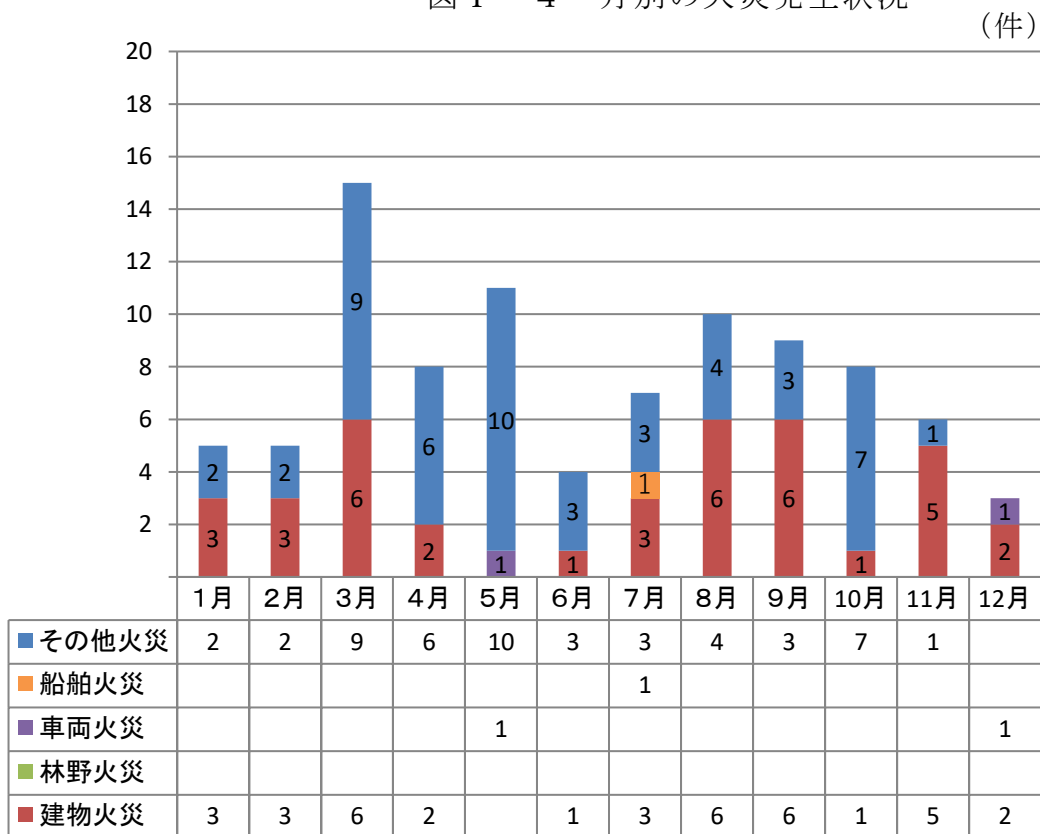


図 I - 4 月別の火災発生状況

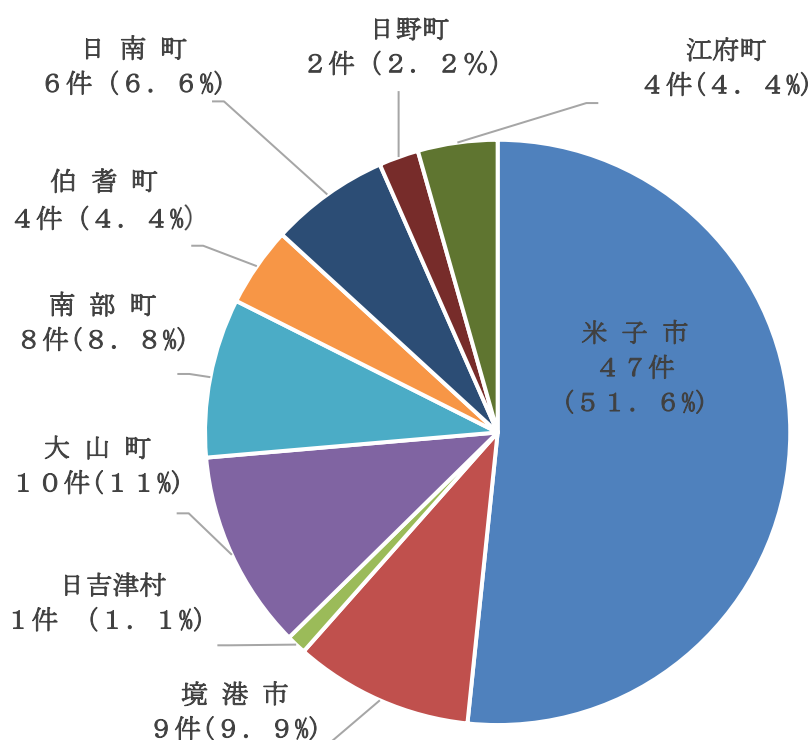


3 市町村別火災状況

火災件数を市町村別でみると、米子市が47件（51.6％）と最も多く、次いで大山町10件（11％）、境港市9件（9.9％）、南部町8件（8.8％）となりました。

火災による損害額は、米子市が4億2,014万8千円と最も多く、次いで日南町、江府町となりました。

図 I - 5 市町村別火災件数



別表 I 損害額の状況

市町村名	火災件数						焼損面積			損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	床面積 ㎡	表面積 ㎡	林野 a	
米子市	47	24		2		21	3,895	693		420,148
境港市	9	3			1	5	81	4		2,308
日吉津村	1	1					416			8,294
大山町	10	3				7	61			13,382
南部町	8	2				6	481	35		13,858
伯耆町	4	1				3	78			44
日南町	6	3				3	658	1		37,428
日野町	2					2				
江府町	4	1				3	971	25		19,884
合計	91	38		2	1	50	6,641	758		515,346

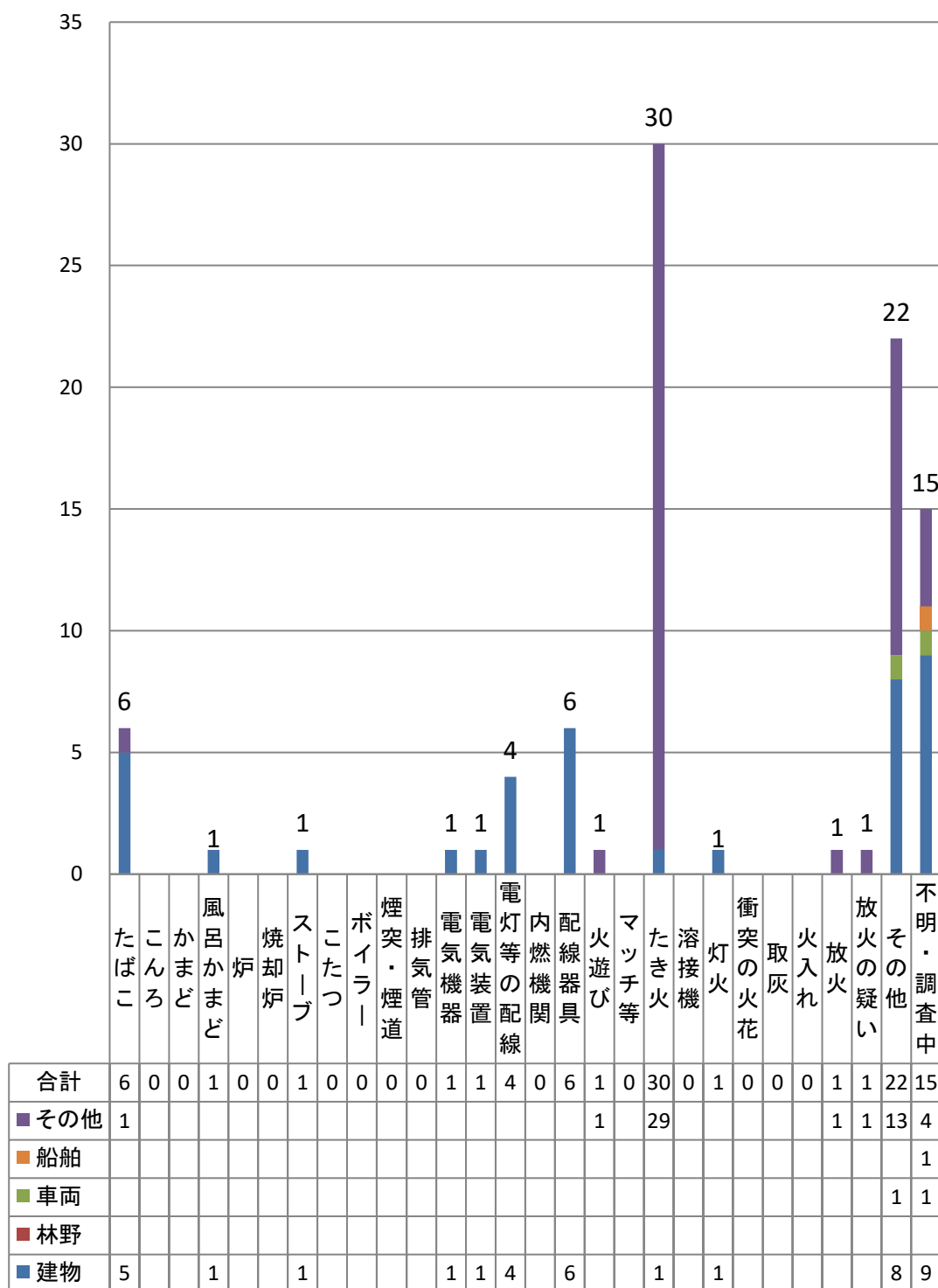
4 出火原因

「たき火」が30件と最も多く、次いで「たばこ」、「配線器具」が6件、「電灯等の配線」が4件となっています。

前年と比較し「たばこ」、「配線器具」、「電灯等の配線」が増加、「こんろ」、「放火の疑い」による出火原因が減少しました。

図 I - 6 火災種別ごとの火災原因

(件)



救 急 ・ 救 助

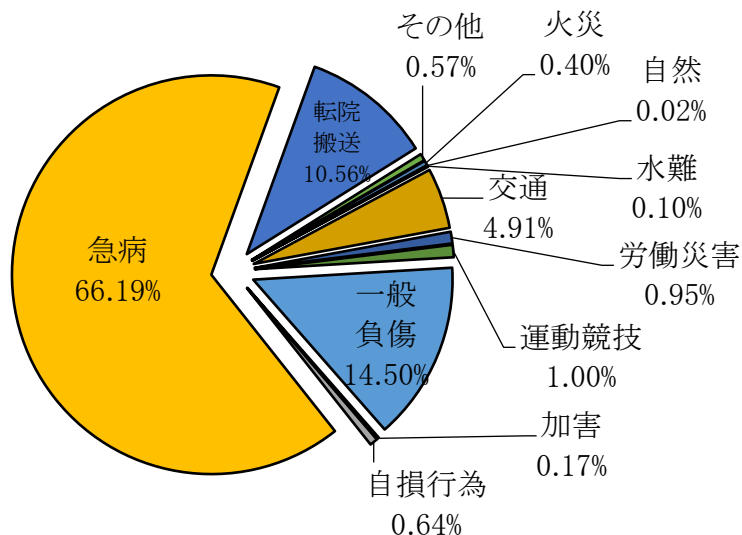


Ⅱ 救急概況

1 救急出動件数、救急搬送状況

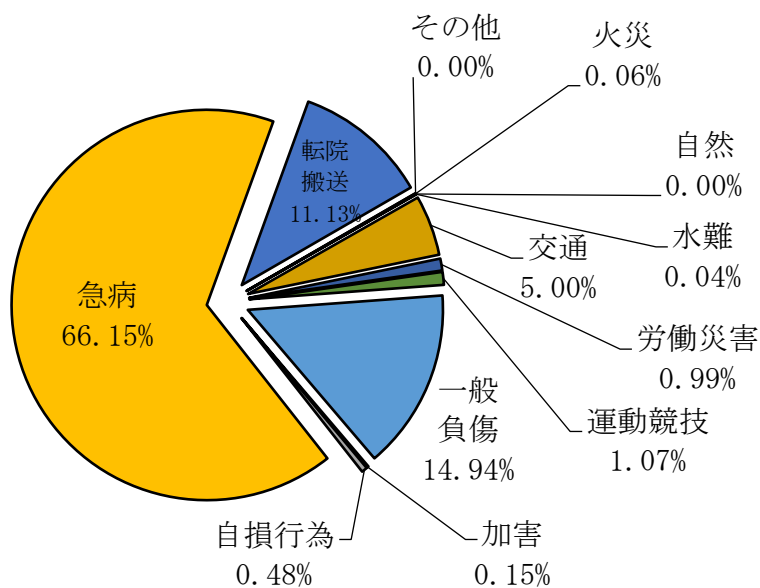
令和5年中の救急出動件数は、前年に比べて736件増の13,190件、搬送人員は728人増の12,365人で、件数、人員とも増加しました。

別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



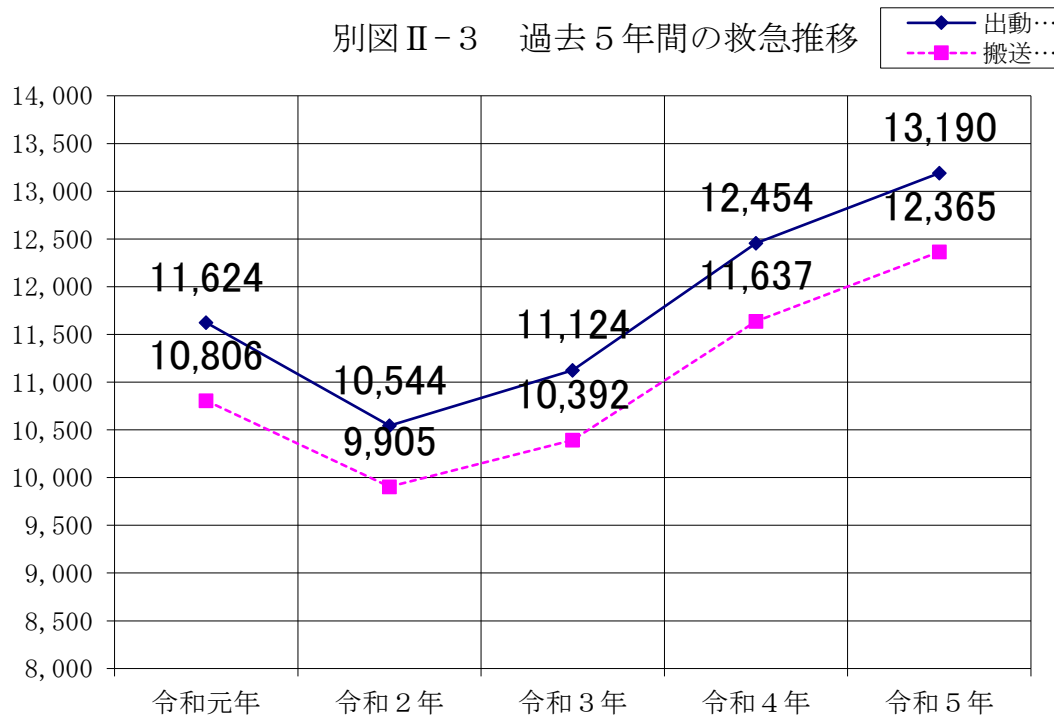
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	53	2	13	648	125	132	1,912	22	85	8,730	1,393	75	13,190

別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況



事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	8	0	5	618	122	132	1,847	19	59	8,179	1,376	0	12,365

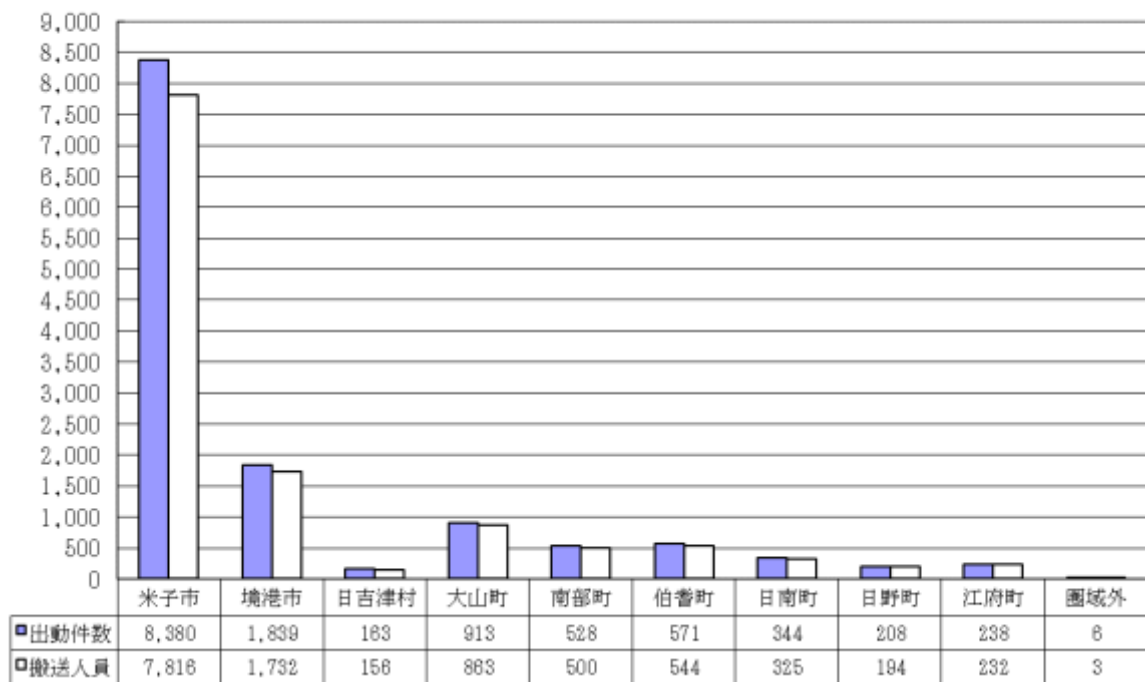
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



2 市町村別救急活動状況

令和5年中は日吉津村、日野町以外の市町村で救急件数が増加しました。

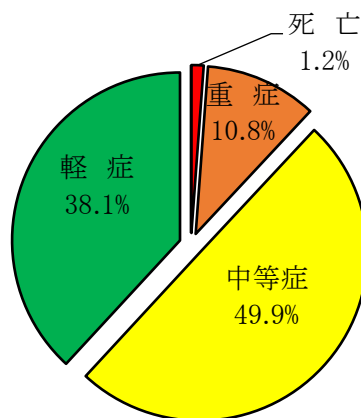
別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況



3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が6, 172人（49.9%）で最も多く、次いで軽症が4, 715人（38.1%）、重症が1, 333人（10.8%）となっています。

別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況

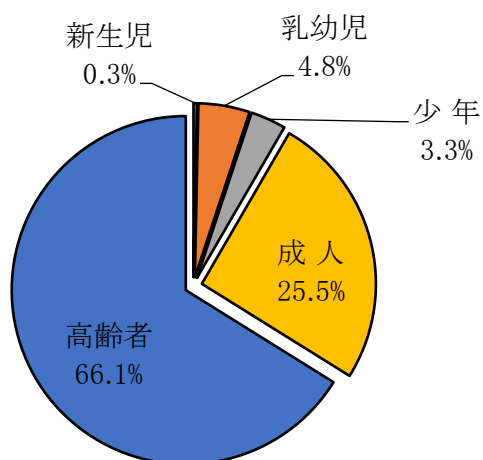


程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	145	1,333	6,172	4,715	0	12,365

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65歳以上の高齢者が8, 177人（66.1%）と最も多くなっています。

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

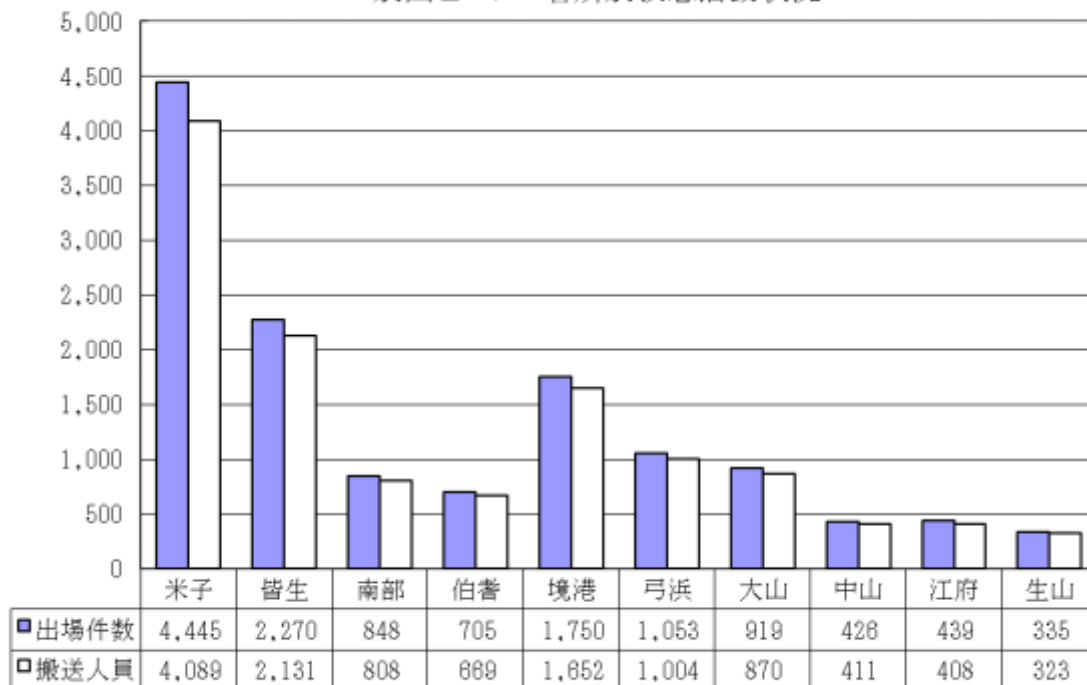


年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
搬送人員	40	589	406	3,153	8,177	12,365

5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ4,445件(33.7%)、4,089人(33.1%)と最も多くなっています。

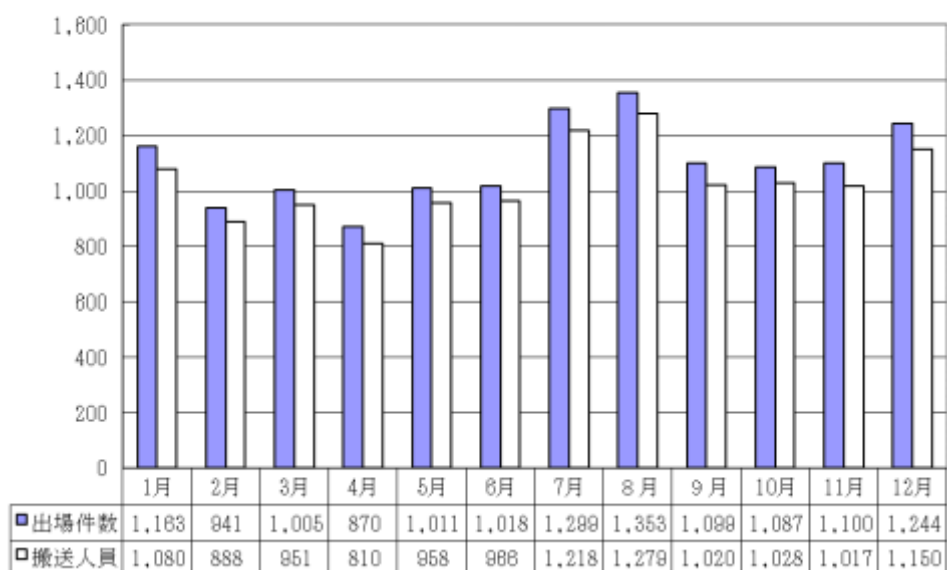
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



6 月別救急活動状況

月別の最多出動件数は、8月が1,353件(10.3%)、続いて7月の1,299件(9.8%)、12月1,244件(9.4%)となっています。搬送人員は、8月が1,279人(10.3%)で最も多く、続いて7月の1,218人(9.9%)、12月1,150人(9.3%)となっています。

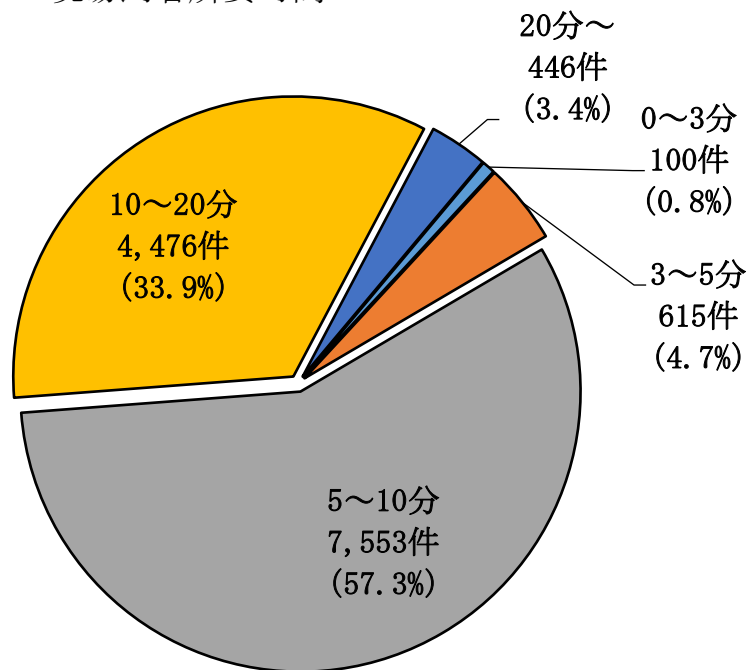
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



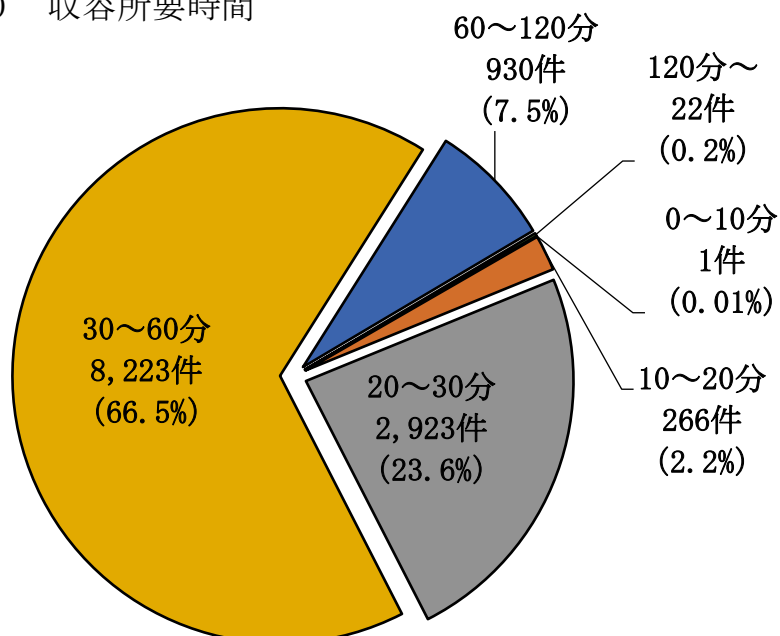
7 現場到着所要時間、収容所要時間

平均現場到着所要時間は10分03秒で昨年より5秒増加し、平均収容所要時間は39分58秒で前年より39秒減少しました。これは、救急出動件数の増加にともない、救急事案が輻輳し、通常の管轄する地域外への出動事案が増加したため現場到着が延伸したと考察します。また、収容所要時間の短縮については、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行され通常救急対応になり、収容医療機関の決定が早まったためと考察します。

別図Ⅱ-9 現場到着所要時間



別図Ⅱ-10 収容所要時間



8 市町村別救急活動の推移

過去5年間の救急件数の推移を見取ることができます。

別表Ⅱ－1 過去5年間の市町村別救急件数

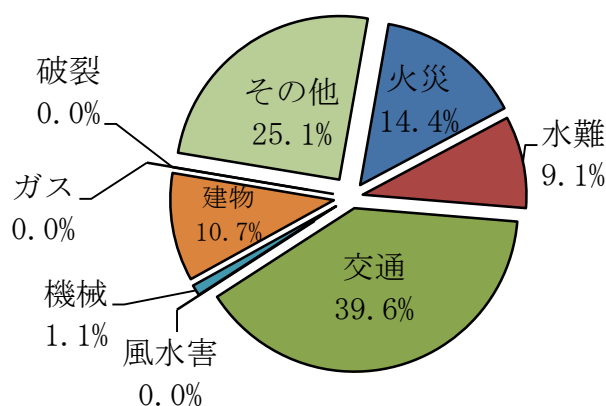
		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
米子市	件数	7,351	6,749	7,008	7,920	8,380
	搬送人員	6,798	6,292	6,529	7,358	7,816
境港市	件数	1,548	1,342	1,476	1,684	1,839
	搬送人員	1,438	1,284	1,391	1,596	1,732
日吉津村	件数	165	152	152	213	163
	搬送人員	158	143	147	203	156
大山町	件数	872	802	822	894	913
	搬送人員	812	749	764	838	863
南部町	件数	428	388	450	480	528
	搬送人員	406	368	414	450	500
伯耆町	件数	532	419	500	526	571
	搬送人員	503	401	463	499	544
日南町	件数	321	317	325	320	344
	搬送人員	304	305	307	301	325
日野町	件数	191	171	160	219	208
	搬送人員	180	164	158	208	194
江府町	件数	202	191	218	186	238
	搬送人員	196	187	206	175	232
圏域外	件数	14	13	13	12	6
	搬送人員	11	12	13	9	3
合計	件数	11,624	10,544	11,124	12,454	13,190
	搬送人員	10,806	9,905	10,392	11,637	12,365

Ⅲ 救助概況

1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は187件あり、そのうち交通事故が74件（39.6%）、その他の事故が47件（25.1%）、火災が27件（14.4%）、建物等による事故20件（10.7%）、水難事故が17件（9.1%）、機械による事故が2件（1.1%）の順となっています。

図Ⅲ－1 事故種別救助出動状況

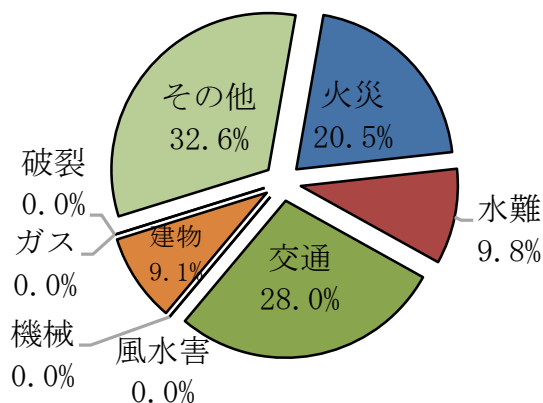


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	27	17	74	0	2	20	0	0	47	187

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は132件あり、そのうちその他の事故が43件（32.6%）、交通事故が37件（28.0%）、火災が27件（20.5%）、建物等による事故12件（9.1%）、水難事故が13件（9.8%）の順となっています。

図Ⅲ－2 事故種別救助活動状況

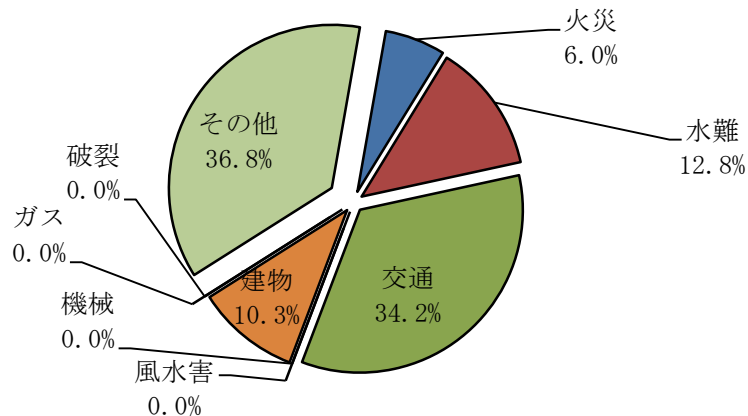


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	27	13	37	0	0	12	0	0	43	132

3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は117人あり、そのうちその他の事故が43人（36.8%）と最も多く、次いで交通事故が40人（34.2%）、水難事故が15人（12.8%）、建物等による事故が12人（10.3%）、火災が7人（6.0%）の順となっています。

図Ⅲ－3 事故種別救助人員状況

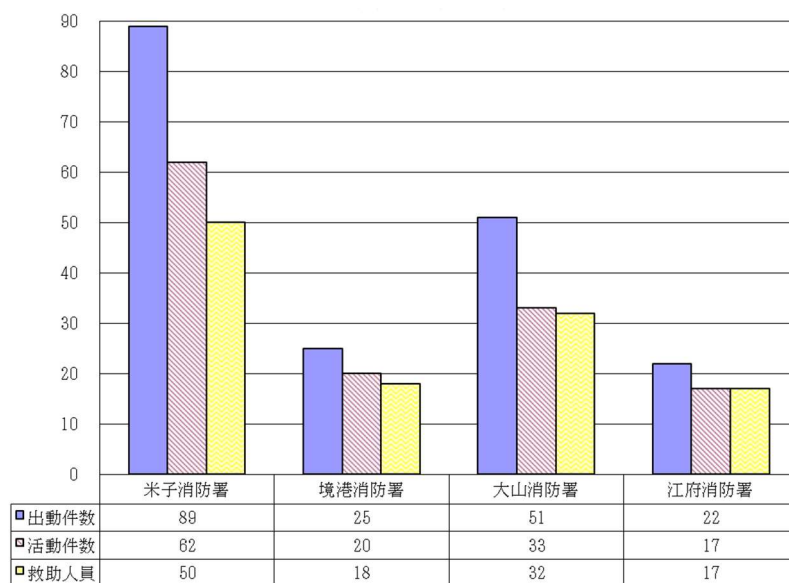


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	7	15	40	0	0	12	0	0	43	117

4 管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が89件（47.6%）と最も多く、次いで大山消防署が51件（27.3%）、境港消防署が25件（13.4%）、江府消防署22件（11.8%）の順となっています。

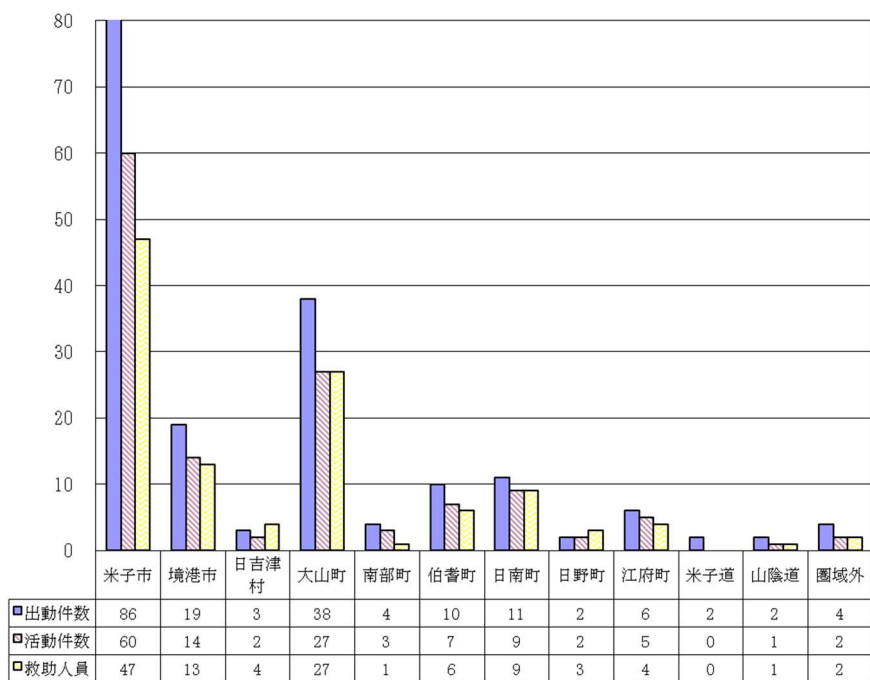
図Ⅲ－4 管轄別救助活動状況



5 市町村別救助活動状況

市町村別に出動件数を見ると、米子市が86件（46.0%）と最も多く、次いで大山町が38件（20.3%）、境港市が19件（10.2%）、日南町が11件（5.9%）、伯耆町が10件（5.3%）の順となっております。

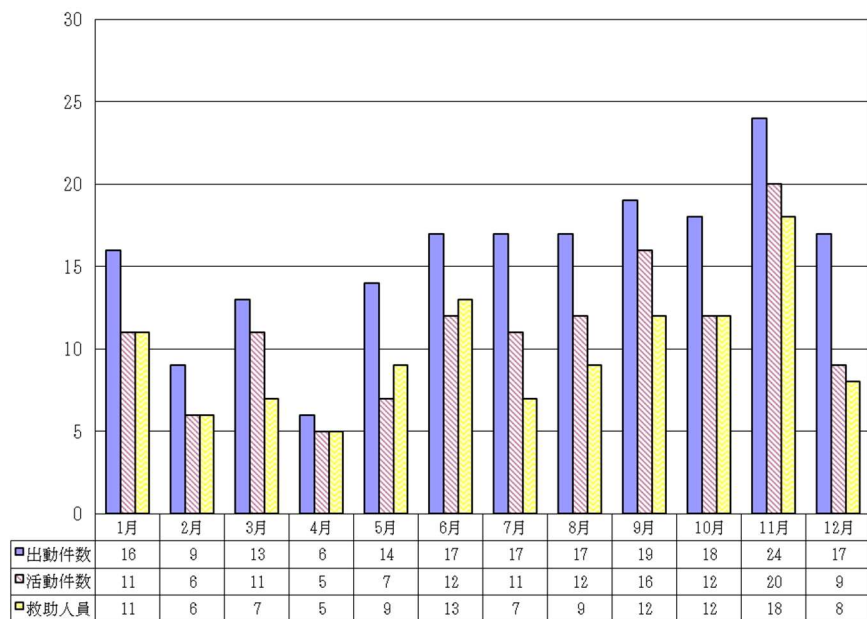
図Ⅲ－5 市町村別救助活動状況



6 月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、11月が24件（12.8%）と最も多く、次いで9月が19件（10.2%）、10月が18件（9.6%）の順となっています。

図Ⅲ－6 月別救助活動状況



119番着信概況

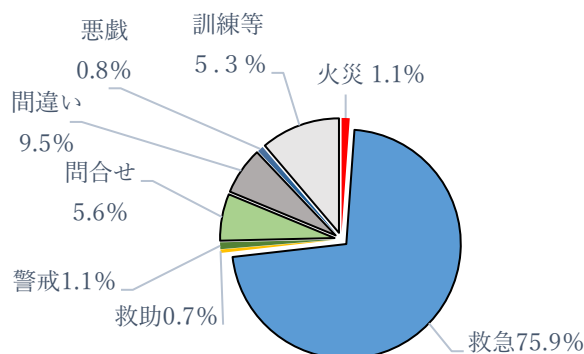


Ⅳ 119番通報着信概況

1 119番通報着信件数の内訳

令和5年中の119番通報の着信概況は、総着信件数が16,370件で昨年に比べ206件の増加となっています。通報種別の内訳は、救急が最も多く12,419件（75.9%）、火災181件（1.1%）、救助109件（0.7%）、警戒181件（1.1%）となっており、これらの緊急を要する通報は全体の78.7%を占めています。問合せ及び間違い、悪戯といった訓練を除く非緊急通報は2,614件で、16%が緊急を要さない通報となっています。

表Ⅳ－1 着信件数内訳



【件】

緊急通報「12,890」				非緊急通報「2,614」			訓練等	合 計
火 災	救 急	救 助	警 戒	問合せ	間違い	悪 戯		
181	12,419	109	181	923	1,555	136	866	16,370

2 月別119番通報着信状況

月平均件数は約1,364件で、1日あたり約45件の通報を着信しています。7月、8月の救急着信件数は、1,200件台と前月と比較し急増したことに伴い、月の合計着信件数も多くなっています。火災通報で最も多かったのは11月の29件、最も少なかったのは12月の2件で、月平均15件となっています。

表Ⅳ－2 月別119番通報着信状況

【件】

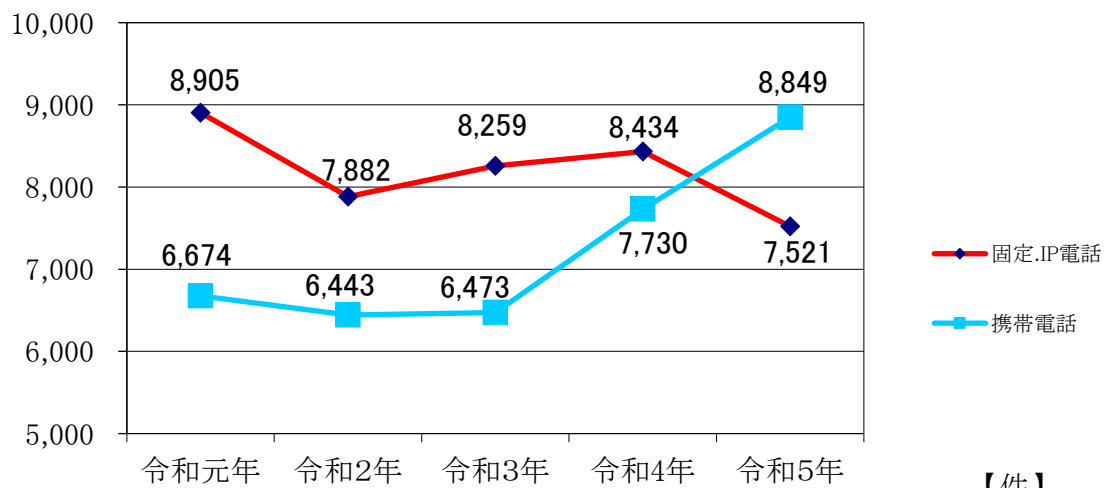
月 別	火 災	救 急	救 助	警戒等	問合せ	間違い	悪 戯	訓練等	合 計
1 月	16	1,080	8	17	111	113	3	70	1,418
2 月	5	879	5	16	58	104	3	53	1,123
3 月	26	946	4	5	90	134	4	100	1,309
4 月	15	825	3	12	49	135	25	125	1,189
5 月	14	962	10	11	74	159	30	82	1,342
6 月	9	956	12	13	77	166	5	58	1,296
7 月	15	1,227	16	12	98	172	5	60	1,605
8 月	21	1,286	12	28	78	144	4	49	1,622
9 月	13	1,025	12	22	82	128	6	61	1,349
10月	16	1,015	8	12	70	112	14	74	1,321
11月	29	1,046	8	19	69	88	20	63	1,342
12月	2	1,172	11	14	67	100	17	71	1,454
合 計	181	12,419	109	181	923	1,555	136	866	16,370
月平均	15	1,035	9	15	77	130	11	72	1364

3 電話種別による119番通報の着信状況

電話種別による119番通報の着信状況を見ると、固定・IP電話は7,521件で昨年に比べ913件の減少、携帯電話は8,849件で1,119件の増加となっています。119番通報の着信件数は、令和2年から増加傾向が見られる中で、携帯電話による通報件数が令和3年から急増していることに対し、固定・IP電話の着信は令和元年から減少傾向となっています。

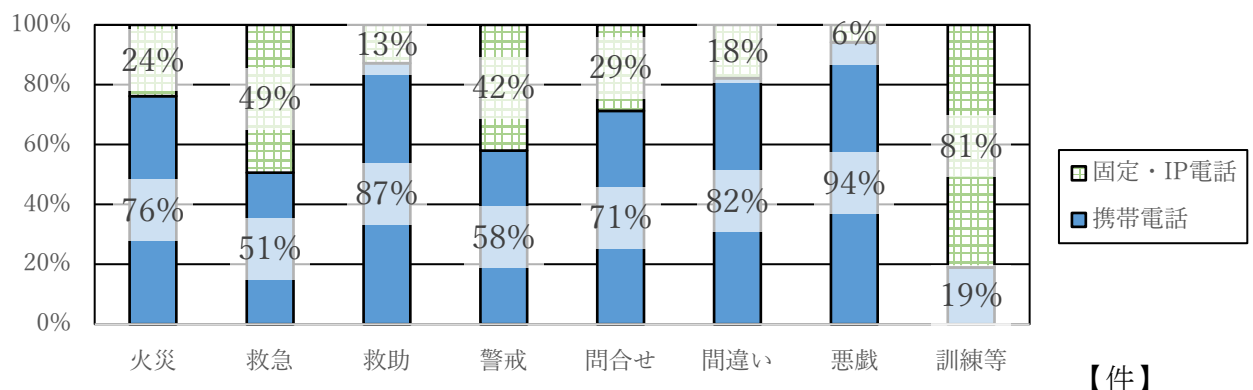
119番通報の着信内訳を見ると、訓練を除くすべてにおいて携帯電話の通報が高い傾向となっています。

表Ⅳ－3 電話種別による119番通報着信件数の推移



項目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
固定・IP電話	8,905	7,882	8,259	8,434	7,521
携帯電話	6,674	6,443	6,473	7,730	8,849
合計	15,579	14,325	14,732	16,164	16,370

表Ⅳ－4 電話種別による通報状況



項目	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定・IP電話	43	6,136	14	76	265	277	8	702	7,521
携帯電話	138	6,283	95	105	658	1,278	128	164	8,849
合計	181	12,419	109	181	923	1,555	136	866	16,370

4 携帯電話からの119番通報の着信状況

携帯電話からの119番通報の着信件数の合計は8,849件となっています。西部消防局圏域内で発生した事案で、他の消防機関から119番通報を転送受信した件数は、86件となっています。また、西部消防局圏域内から着信した119番通報を災害が発生した管轄する他の消防機関に転送した件数は87件ありました。

表Ⅳ-5 携帯電話からの着信状況 【件】

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に 転送した件数
直接通報を受けた 件 数	他の消防機関から 転送受信した件数	携帯電話 合計着信件数	
8,763	86	8,849	87

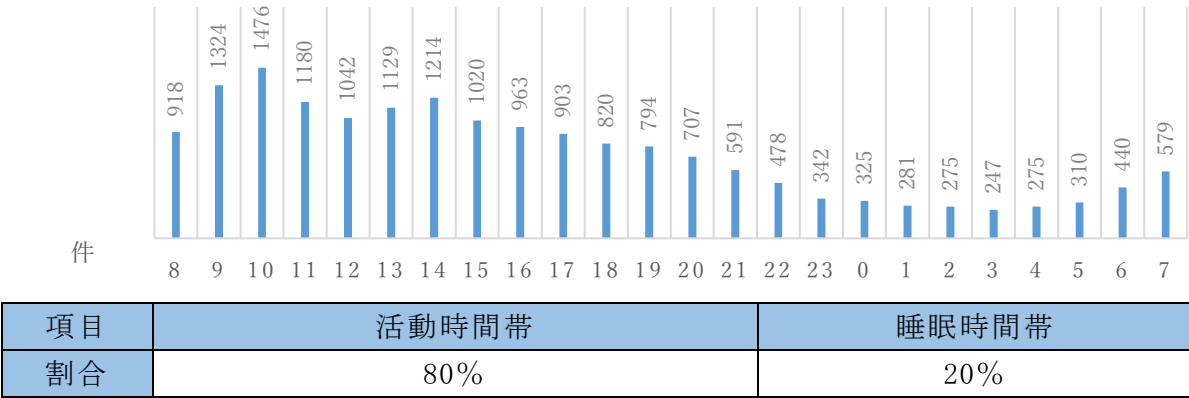
表Ⅳ-6 携帯電話の消防機関別転送状況 【件】

他の消防機関から転送受信した件数					他の消防機関に転送した件数				
	火災	救急	その他	合計		火災	救急	その他	合計
松 江		35	1	36	松 江		46		46
安 来	1	35	1	37	安 来		32		32
雲 南				0	雲 南				0
東 部				0	東 部	1			1
中 部		7		7	中 部		6		6
その他	1	5		6	その他		2		2
合 計	2	82	2	86	合 計	1	86	0	87

5 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別119番通報の着信状況を見ると、活動時間帯（8時～21時）で全体の約80%を占め、睡眠時間帯（22時～翌7時）では約20%となっています。

表Ⅳ-7 時間帯別着信状況



※データ取得の都合、一部119番通報着信以外も含まれます。

消防団・水利



消防団の人員と装備

令和6年4月1日現在

人 員 市町村別		人 員								消 防 車 両 等				
		定員	実員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	消自防ポンプ車	小ポンプ型積載力車	小ポン型動力車	手ポン引動力車
合 計		1,404	1,216	9	19	73	71	69	196	779	51	22	24	0
米 子 市		544	486	1	4	28	28	52	110	263	15	8	9	0
境 港 市		116	88	1	2	7	5	7	12	54	6	0	0	0
西 伯 郡	日 吉 津 村	35	29	1	2	1	1	0	3	21	2	0	0	0
	大 山 町	171	150	1	3	10	10	10	21	95	9	2	0	0
	南 部 町	148	122	1	2	7	7	0	15	90	5	3	0	0
	伯 耆 町	163	136	1	2	7	7	0	14	105	4	4	4	0
日 野 郡	日 南 町	103	97	1	1	7	7	0	7	74	5	2	5	0
	日 野 町	64	60	1	2	3	3	0	5	46	3	2	5	0
	江 府 町	60	48	1	1	3	3	0	9	31	2	1	1	0

水 利 状 況

令和6年4月1日現在

区 分 市町村別		水 利				
		基 準 数	現 有 数			
			公 設 消 火 栓 (150mm 以 上)	公 設 水 槽 (40t 以 上)	そ の 他	計
合 計		3,782	1,418	871	2,885	5,174
米 子 市		1,354	1,072	158	505	1,735
境 港 市		676	288	57	58	403
西 伯 郡	日 吉 津 村	55	58	0	21	79
	大 山 町	389	0	235	490	725
	南 部 町	157	0	144	254	398
	伯 耆 町	57	0	117	432	549
日 野 郡	日 南 町	508	0	62	732	794
	日 野 町	218	0	35	232	267
	江 府 町	368	0	63	161	224

関 係 団 体



令和5年度 事業報告書

1 研修会の部

(1) 新入社員防災研修会(米子地区防火安全協会共催)

令和5年6月1日(木)・6月2日(金) 西部消防局において開催(126名参加)

(2) 令和5年度法定講習講師研修会

令和5年7月 映像配信にて研修(事務局から1名参加)

(3) 危険物事故防止講習会(岡山)

令和5年10月11日(水)(事務局から1名参加)

(4) 消火競技会(境港市消防保安協会主催)

令和5年10月26日(木) 境港消防署において開催(3事業所4チーム参加)

(5) 実務研修会

令和6年2月21日(水)

米子ワシントンホテルプラザにおいて開催(45名参加)

2 講習会の部

(1) 第1回危険物取扱者試験準備講習会

令和5年5月16日(火)～17日(水)

【乙種第4類】20名参加

(17名)

合 格 率 29.4%
(県平均 27.2%)

【丙 種】

1名参加
(1名)

合 格 率 100%
(県平均 75.0%)

(2) 第2回危険物取扱者試験準備講習会

令和5年9月21日(木)～22日(金)

【乙種第4類】12名参加

(12名)

合 格 率 25.0%
(県平均 35.1%)

【丙 種】

0名参加

(0名)

合 格 率 受講者なし
(県平均 61.9%)

(3) 第3回危険物取扱者試験準備講習会

令和6年2月8日(木)～9日(金)

【乙種第4類】20名参加

(17名)

合 格 率 43.8%
(県平均 32.9%)

【丙 種】

1名参加

(1名)

合 格 率 $\frac{100\%}{(県平均 75.0\%)}$

※()内は、米子地区防火安全協会からの参加者数

3 幹旋事業の部

(1)図書の発行 消防計画の作成例、火災予防関係例規集

(2)標識・掲示板の幹旋

(3)防火管理者講習会等の図書幹旋

【甲種防火管理 新規講習】

第1回 令和5年 5月10日(水)～11日(木) 65冊

第2回 令和5年 9月12日(火)～13日(水) 68冊

第3回 令和5年11月16日(木)～17日(金) 71冊

第4回 令和6年 3月14日(木)～15日(金) 52冊

【乙種防火管理 新規講習】

第1回 令和6年 3月14日(木) 5冊

【防 災 管 理 新 規 講 習】

令和5年10月12日(木) 20冊

【甲 種 防 火 管 理 再 講 習】

令和5年12月 8日(金) 41冊

【防火・防災管理 再講習】

令和5年 6月20日(火) 2冊

4 会報発刊の部

会報(第24号) 8月 発刊

会報(第25号) 3月 発刊

5 防火協力の部

(1)住宅用火災警報器の普及活動協力

(2)消防行事に協賛

(3)図書の寄贈

(4)防火DVD購入

(5)防火DVD等の貸し出し

(6)表彰記念品の購入

6 会議の部

定期総会、役員会 令和5年6月27日(火)

新年役員会 令和6年1月25日(木)

7 危険物保安協会関係の部(国・県)

(1) 令和5年度全国危険物安全協会 危険物安全大会

令和5年6月5日(月) ニッショーホールにおいて開催

【全国危険物安全協会理事長表彰 感謝状】

宇野 松人(米子瓦斯 株式会社)

(2) 鳥取県危険物保安協会連合会理事会及び安全大会

令和5年6月9日(金) ホテルセントパレス倉吉において開催

【県知事・危険物保安功労者表彰】

秦 伊知郎(有限会社 秦石油店)

【県知事・危険物優良事業所表彰】

株式会社 岡田商店

【県知事・危険物優良取扱者表彰】

本田 靖(株式会社 ジョモネット山陰)

【県危連・危険物保安功労者表彰】

森 紳二郎(株式会社 米子高島屋)

【県危連・危険物優良事業所表彰】

株式会社 山陰放送

8 表彰の部

会長表彰

【功労者表彰】

石部 裕一(社会医療法人同愛会 博愛病院)

【危険物優良事業所表彰】

ニッパ株式会社 鳥取名和工場

学校法人 柳心学園

【優良事業所表彰】

社会福祉法人 介護老人福祉施設 博愛苑

【危険物優良取扱者】

武部 輝幸(鳥取県金属熱処理協業組合)

白石 耕路(有限会社 白石商事)

9 その他

鳥取県危険物取扱者保安講習

令和5年9月5日(水)・6日(木)

米子コンベンションセンターにおいて開催

事務担当者2名派遣

1 会報の発行

会報第65号発行（令和6年1月）

2 研修用ビデオ貸し出し

会員事業所へ防火・防災ビデオの貸し出し

3 住宅用火災警報器維持対策広報

経年劣化した住宅用火災警報器の交換の促進

4 消火競技会の開催

10月26日（木）：第44回事業所対抗消火競技会

5 講習会の開催 危険物取扱者試験準備講習会

5月、9月、2月に米子地区防火安全協会と合同実施

6 会議関係

（1）境港市消防保安協会関係

役員会 4月20日（木）

定期総会 5月25日（木）

（2）鳥取県危険物保安協会連合会関係

事務局会議 5月12日（金）

理事会及び危険物安全大会 6月 9日（金）（倉吉市：ホテルセントパレス倉吉）

7 表彰関係

（1）境港市消防保安協会 会長表彰

危険物優良事業所表彰 : 共和水産株式会社

危険物優良取扱者表彰 : 井塚 幸浩 様

（株式会社ニヤクコーポレーション中国支店境港事業所）

感謝状 : 市村 稔 様（有限会社市村商店）

（2）鳥取県危険物保安協会連合会 会長表彰

危険物優良事業所表彰 : 北陽冷蔵株式会社

（3）一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰

事業所表彰 : 株式会社ニヤクコーポレーション中国支店境港事業所

8 その他

（1）境港市消防団ポンプ操法大会（6月4日）

（2）各種講習会・試験実施案内

令和5年版 消防年報

令和6年7月 発行

編集・発行 鳥取県西部広域行政管理組合消防局

〒683-0853鳥取県米子市両三柳5452番地

TEL (0 8 5 9) 3 5 - 1 9 5 1

FAX (0 8 5 9) 3 5 - 1 9 6 1

